

茗溪



夏

2018
平成30年
no.1098

目次

- グラビア …… 01 ～ 02
- 一般社団法人 茗溪会第7回定時総会 …… 03 ～ 09
- 平成30年 暑中お見舞い申し上げます …… 10
- 占春園再生プロジェクト …… 11
- 「宣揚歌」覚書き …… 12 ～ 13
- 筑波大学はいま …… 14
- 筑波大学女子ハンドボール部創部50周年 …… 15
- 組織委員会報告（ブロック会議等） …… 16 ～ 17
- やどかり祭を終えて …… 18 ～ 19
- 著書紹介 …… 19
- 茗溪・東西南北 …… 20 ～ 21
- 桐の葉のつどい …… 22 ～ 23
- 茗溪学園だより …… 24
- 追悼録 …… 25
- 平成30年春の叙勲おめでとうございます …… 26
- 広報 …… 26
- 表紙のことば …… 26
- 編集後記 …… 26



日本のバウムクーヘンの歴史は
ユーハイムから始まりました。



まっすぐなおいしさ

日本で初めてバウムクーヘンが焼かれたのは1919年(大正8年)のこと。
創始者カール・ユーハイムの焼きあげたバウムクーヘンへの想いは
今も変わらず、職人から職人に受け継がれています。

ユーハイム®

www.juchheim.co.jp/juchheim
〒650-0046 神戸市中央区港島中町7-7-4

お客様係 TEL 0120-860816

受付時間：平日(月～金) 9:30～17:00(年末年始を除く)
携帯電話・PHSからはご利用いただけません。

食の提供 (アウトソーシング)

社員食堂 / 寮・研修所・保養所・研究施設 /
学生食堂 / レジャーレストラン / カフェ

お仕事に、勉強にがんばる皆様を食事面からサポートいたします。
空間づくりなども含めた委託運営を行っています。



学生食堂

～学校ブランドを高める空間づくり～

学生の皆様にとって、大切な思い出の一つになる学生食堂。
学校それぞれの教育方針に沿って運営を行いながらも、
学生層に合わせ、トレンドを意識したメニューをご用意。
カジュアルさとおいしさで好評をいただいています。
また、売店の運営やスクールバスの運行など、トータルでの
サポートも可能です。

寮・研修所・保養所・研究施設

～やすらぎと栄養バランスを考えた食事提供～

各施設の運営方針やご利用者の年齢層に応じたメニューを
提供。栄養バランスを考慮した食事を提供するだけでなく、
研修施設では研修期間や日程などの利用状況に対応した運営を
心がけ、「食」を通じて家庭にいるような安らぎを提供すること
を目指しています。食事以外にも、施設管理全般にわたる管理
業務も行っています。



はぐくむ、大切なことのすべて

SHIDAX

シダックスフードサービス株式会社

〒160-0021 東京都新宿区歌舞伎町1-17-10 シダックス新宿セントラルロード
TEL.03-6632-5052 (代表)

KAIT

力と自信がつく教育で 「考え、行動する人材」を育成します。

■工学部

機械工学科(航空宇宙学専攻含む)
電気電子情報工学科
応用化学科
臨床工学科

■創造工学部

自動車システム開発工学科
ロボット・メカトロニクス学科
ホームエレクトロニクス開発学科

■応用バイオ科学部

応用バイオ科学科
栄養生命科学科[管理栄養士養成課程]

■情報学部

情報工学科
情報ネットワーク・コミュニケーション学科
情報メディア学科

■看護学部

看護学科

理事長 中部謙一郎

常務理事 河野 隆二(S47農)

監査室 矢野 正人(S53院修 農)(神奈川茗溪会 会長)

教職センター 大畑多津雄(S52理 数)(同 副会長)

教職センター 望月 正大(S51理 数)(同 副会長)

早期学生支援室 掛原 豊(S54農林学類)



神奈川工科大学
KANAGAWA INSTITUTE OF TECHNOLOGY

〒243-0292 神奈川県厚木市下荻野1030
TEL.046-291-3002 URL:http://www.kait.jp/

占春園再生プロジェクト (P.11 参照)



占春園由来の碑



平成 30 年 4 月の占春園



嘉納治五郎像を望む

第 44 回 やどかり祭 (P.18 ~ 19 参照)





一般社団法人 茗溪会 第7回 定時総会

平成30年5月24日(木) 茗溪会館にて



清水副学長（学長代理）



江田理事長



ブロック別懇談の会風景



一般社団法人

茗溪会 第7回定時総会

平成30年5月24日(木) 茗溪会館にて

定時総会出席代議員一覧

(敬称略)

筑波大	清水 諭	埼 玉	矢 嶋 章 司	神 奈 川	大 石 進	京 都	川 合 英 之
筑波大	本 谷 聡	埼 玉	前 島 富 雄	神 奈 川	中 道 徹	大 阪	松 本 秀 範
北海道	大 沼 寛	埼 玉	細 田 幸 一	山 梨	山 本 英 樹	大 阪	岡 村 多 加 志
北海道	川 口 淳	千 葉	青 木 寛	長 野	田 澤 直 人	兵 庫	中 野 憲 二
岩 手	佐 藤 有	千 葉	植 草 完	長 野	竹 村 和 也	奈 良	谷 垣 康
宮 城	小 野 寺 清 隆	千 葉	猿 渡 末 治	新 潟	内 野 信 昭	和 歌 山	土 肥 二 郎
秋 田	越 後 谷 真 悦	東 京	中 村 穎 司	富 山	神 田 聡	鳥 取	小 倉 健 一
山 形	津 田 浩	東 京	柳 久 美 子	石 川	濱 辺 正 実	島 根	野 々 村 卓
福 島	五 輪 美 智 子	東 京	田 中 修	静 岡	熊 野 善 介	山 口	吉 本 晃
茨 城	仙 波 操	東 京	浅 井 一 郎	静 岡	齊 藤 浩 幸	香 川	山 本 主 税
茨 城	高 瀬 宏 樹	東 京	渡 邊 悟	愛 知	村 松 利 之	媛 岡	八 木 俊 博
茨 城	鈴 木 一 弘	東 京	三 橋 浩 志	愛 知	竹 下 裕 隆	福 佐	永 沼 真 紀
栃 木	中 島 博 司	神 奈 川	佐 々 木 悦 子	愛 知	高 畑 尚 弘	熊 本	小 川 隆 弘
栃 木	若 杉 俊 明	神 奈 川	本 木 幹 雄	岐 阜	大 橋 則 雄	沖	赤 星 隆 晃
群 馬	市 川 敏 美	神 奈 川	山 崎 紀 彦	滋 賀	脇 坂 高 峰		前 門
埼 玉	奥 谷 多 作	神 奈 川	大 畑 多 津 雄	三 重	阿 形 克 己		

一般社団法人茗溪会

第7回 平成30年度 定時総会

挨拶 (要旨)

一般社団法人 茗溪会

理事長 江田 昌 佑



本日は、一般社団法人茗溪会定時総会を開催いたしましたところ、ご多忙の中、全国各地からご参集いただき誠に有り難うございます。

日頃、議員の皆様には、地域組織等における茗溪会活動にご尽力を賜り、心からの敬意と感謝を申しあげます。

本会は、新法人に移行しての7年間、必要とされる構造改革や機能刷新に注力して参りました。当初から「茗溪会拡充キャンペーン」を全国展開して、基盤整備と充実に図り、次いで「レビューと中期将来計画」を策定し、本会運営の基本大綱として現在の歩みを進めています。

昨年の総会で述べた、茗溪会館の全館空調設備の大型修繕工事は無事終了しました。また、本会に重くのし掛かっていた公益目的財産の費消については、平成29年度をもって(1年の短縮)完了しました。これらのことは、5年計画で実施した「拡充キャンペーン」の成果でもあ

り、全国会員をはじめ本会関係各位のご協力あつてのことと感謝しております。特に「茗溪フェロー」の新設は大きな貢献を齎しました。この制度は今後も継続いたします。

さて、ここで本会が当面する3つの課題について述べ、皆様のご理解とご協力をお願いしたいと存じます。

本会の諸々の事業活動の中で唯一立ち遅れ、道半ばであるのが財政の健全化です。具体的には、会員・年会費納入率の減少傾向にあることです。

本日、「拡充キャンペーンの総括的報告」がなされますが、昨年の会費納入率が9%(全国平均)に落込んでいます。

また、年会費納入総額が約20年前のほぼ60%弱に減少しています。一日も早く、プラス・スパイラルに転換することが、本会の自助努力必須の要諦であることは言をまちません。

本年1月の本部理事会では、理事各々が年間を通して、3名程度の会員増・会費納入者増の勧誘活動の努力を数年間にわたって行うことを申し合わせました。

議員の皆様には、この場をかりてお願いをいたします。各地域組織等におかれても、それぞれの組織等の実状に合わせて、会員増、年会費納入率向上へのお力添えを切望する次第です。

本件の事業活動につきましては、本部として常務理事が陣頭責任者としてその任に当たります。本日の報告事項の中でもお願いすることになっていきます。

第2の課題については、茗溪創基150年記念事業についてであります。

本年は明治維新150年の節目に当たります。茗溪の創基は明治維新とともに歩調を併せて発展・寄与してきた歴史的経緯があります。

来年には、皇位継承、改元等々、また、2020年に東京五輪・パラリンピックの開催などがあり、時代の変化の波は大小様々と予想されることから、世の多様化にも対応する必要があります。

2022年に茗溪創基150年を迎えるに当たり、本年1月、本部理事会は、茗溪創基150年記念事業準備室を立ち上げました。

この事業の意義は、150年の歴史の中で、時代を乗り越

えて本会が連綿と活動してきたことに対して敬意を表するとともに、茗溪の先達に思いを馳せ、レガシーを大切に、将来に亘り本会の新たな発展を期する意義ある記念事業を興すことにあります。

茗溪の仲間に関わり、より絆を深める互助の事業として、また、次世代への伝統継承の事業として計画したいと考えています。

議員の皆様や各地域組織等からの企画の要望など是非本部事務局の記念事業準備室にお寄せ下さい。

これらの記念事業は、全国会員の皆様と共に茗溪の精神を共有しながら推進できるよう努めて参ります。現在、前倒しの事業として2つの企画が進行しています。

(1) 占春園再生プロジェクト

2020年東京オリンピック・パラリンピックの前に、嘉納治五郎先生像のある大塚キャンパスの占春園を再生させる事業です。

(2) 茗溪・筑波産業人倶楽部の設立

本年7月発会の運びとなります。本会組織委員会をはじめ関係各位の1年間に亘った献身的なご尽力に対し、感謝と敬意を表します。

第3の課題が、今述べました茗溪・筑波産業人倶楽部の発足です。

現在、同窓の多数の方々が多種多様な業界で活躍されていますが、同窓会としてのネットワークが必ずしも十分でない実状です。この課題については「レビューと中期将来計画」の中で、教育界以外のもうひとつの業界などの柱を建てる必要性を述べています。

産業界等を中心とした、情報交換等の互助事業を推進できる新しい中核的な組織の発足が、本年3月理事会で承認されました。

将来の輝ける発展の礎石となることを希っています。

以上、本会の身近な課題等について縷々述べましたが、理事会は一旦とって本会発展のために渾身の努力をしております。

議員の皆様、全国各地域組織等の皆様には、茗溪会の一層の発展のために、特段のご理解と更なるご協力をお願い申し上げて私のご挨拶といたします。

平成30年度 茗溪会定時総会

ご挨拶

国立大学法人 筑波大学長

永田 恭介

(代読 筑波大学副学長 清水 諭)



日頃より、貴会からの本学へのご支援に感謝を申し上げます。貴会の平成30年度の定時総会に際して、ご挨拶を申し上げます。

現在、私たちは激動する世界の中にあることを認識し、我が国の状況、その中での個々の活動について考えていなければなりません。水や大気の汚染、大震災・大災害の発生、貧困や格差、あるいは教育環境に関する問題などは地球規模で早急な解決を求められる課題です。

筑波大学は昨年、国立大学として初めて国連グローバル

コンパクトに加盟いたしました。大学の構成員一人ひとりが社会的状況をしっかりと認識し、Sustainable Development Goals (SDGs: 持続的な発展のための課題)に取り組んでまいります。また、昨年来、日本の経済を支えてきた企業において、様々な不正が発覚しました。信頼を勝ち得るために目に見えない努力と誠実さで対応してきたこれまでの業務の遂行に、根本的な問題が生じてきたと思われます。社会にとってその基盤を構築し、維持し続けるために最も重要な公正さ、誠実さをもった信頼のおける人間を育成することは大学教育の重要な責務と考えます。

一方、本学の学生・関係者は昨年度も大いに活躍しました。蹴球部は天皇杯全日本サッカー大会においてJリーグ所属の3チームに勝ち、スポーツ界に大きな旋風を巻き起こしました。体育専門学群の梶原悠未さんは、全日本選手権自転車競技大会で4種目制覇した後、世界大会でも連続優勝し、大学院体育学専攻の宮地秀享さんも種目別ワールドカップ・メルボルン大会において鉄棒で優勝しています。また、東京2020オリンピック・パラリンピックを前に、共生社会の推進を目指して「オリンピック・パラリンピック総合推進室」を設置し、ボランティア育成に向けた全学的取り組みを進めています。本年4月11日には、ローザンヌにおいて、茨城県知事、つくば市長と共に、スイスオリンピック協会とスイス選手団事前キャンプ基本合意書に調印しました。今後も大学のもっている資源を活かして、地域社会、そして国際社会に貢献したいと考えています。

本学では、建学以来の特長であり強みである「国際性」と「学際性」を軸に、教育、研究、経営・運営の面で、より高いレベルでそれらが発揮されるような取組みを進めています。平成26年度にスタートした「スーパー・グローバル大学創成事業」は昨年度行われた中間評価においては、トップ型13大学中2大学にだけ下されたS評価をいただきました。自校と他校の壁を感じさせない「Campus-in-Campus」事業を充実し、日本人学生と留学生が、また教職員とパートナー大学の教職員が、自由闊達に交流できる環境を整えています。また、リーディング大学院大学事業である「ヒューマン・バイオロジー・プログラム」、「エンパワーメント情報学プログラム」は、世界から志願してきた学生たちに先端的な研究実践力を身につけさせるプログラムであり、学生達は修了後には世界の大学や企業に羽ばたいています。さらに、産学官連携事業も大きく進展していますし、つくば駅に近接する土地にアリーナを建設する計画も進んでいます。

大学におけるすべての活動は、現在の社会情勢や将来の社会のあるべき姿を思い描き、またその実現のために解決すべき課題の認識と解決策を生み出す考察を抜きに行うことはできません。常に来るべき未来を想像し、本学らしい解決策を社会に先駆けて示すことが重要であり、そうした努力が本学の存在意義を一層明確化することにも繋がります。

茗溪会におかれましてはますますのご発展をお祈りするとともに、本学へのご支援をお願い申し上げ、挨拶とさせていただきます。

一般社団法人 茗溪会(平成30年度)

第7回定時総会議事(要旨)

一般社団法人茗溪会第7回定時総会は、平成30年5月24日(木)13時30分から茗溪会館2階「茗溪」の間において開催されました。議事に先立ち、高野常務理事より代議員総数99名のうち、出席63名、委任状による出席24名、合計87名の出席があり、定款第17条により定時総会は、成立するとの報告がありました。また、関連法人の筑波学都資金財団から3名の出席を了解しているとの報告がありました。

理事長挨拶

江田理事長から、新法人に移行して7年間、構造改革や機能刷新に注力し、「茗溪会拡充キャンペーン」を全国展開して基盤整備と充実を図り、次いで本会運営の基本大綱「レビューと中期将来計画」を策定して現在の歩みを進めており、平成29年度には茗溪会館の大型改修工事が無事終了したとともに公益目的財産の費消が1年短縮して完了したこと、また、本会の当面する3つの課題(財政の健全化、茗溪創基150年記念事業、茗溪・筑波産業人倶楽部の発足)について縷々述べられ、理事会は一丸となって本会発展のために努力しており、地域組織等の皆様には本会の一層の発展のために特段のご理解と更なるご協力をお願いしたいとの挨拶がありました。(P4参照)

続いて筑波大学長は、公務と重なり欠席されたので、清水副学長から学長祝辞

が代読されました。(P5参照)

議長就任、開会宣言及び議事録署名人

常務理事から、定款第15条により理事長が議長につき、次いで、議長から、第7回定時総会を開催するとの開会宣言がありました。定款第19条により議事録は議長及び総会において選出された議事録署名人2名が署名することになっているとの説明があり、本総会選出の議事録署名人2名は、中村頼司代議員と三橋浩志代議員を選出して議事に入りました。

審議事項

第1号議案 平成29年度事業報告、決算書類及び監査報告の承認について

議長から、本議案は一括提案説明、一括審議、一括承認の流れで諮りたいとの発言があり、次いで、常務理事から29年度の事業について、また、岩田局長代理から29年度予算・実績対照表、貸借対照表、財産目録、注記事項、正味財産増減



高野 力 常務理事



岩田敏昭 局長代理

第2号議案 平成30年度事業計画(案)及予算(案)について

議長から、本議案は一括提案説明、一括審議、一括承認の流れで諮りたいとの発言があり、これを受け常務理事から30年度事業計画(案)について、また、岩田局長代理から30年度予算(案)について、それぞれ提案説明があり、議長から、本議案を一括して諮ったところ、本議案は

賛成多数で可決承認されました。

第3号議案 役員の選任について

議長から、役員は、定款第22条第1項により本総会の決議によって選任されるが、今回の人事案件は、任期2年の任期満了に伴う理事候補者25名及び監事候補者3名の選任であるとして候補者について提案があり、社員総会選挙規程第26条により候補者ごとに選任の採決が諮られた結果、左記の方が異議なく賛成多数で選任されました。これを受け、各候補者はその就任を承諾しました。

①理事(任期…平成30年5月24日から平成32年定時総会終結まで) 25名

阿江通良、新井達郎、井口武雄、鶴澤 力、江田昌佑、大澤義明、川田孝一、河本 武、佐藤 忍、柴田 淳、高野 力、高橋基之、田代淳一、田中正造、西川綾子、福岡一雄、宮尾 徹、百瀬明宏、渡部史人、真田 久、早川源一、平野正美、廣田則夫、守橋健二、矢野正人

②監事(任期…平成30年5月24日から平成32年定時総会終結まで) 3名

飯塚良成、小島和雄、小泉淑子



飯塚良成 監事

報告事項

(1) 茗溪創基150年記念事業について

議長から、本年1月、茗溪創基150年記念事業の準備室を設置したが、早期に実行委員会に切りかえて対応したい、記念事業は、茗溪創基150年の2022年を中心として茗溪創基150年記念式典等を行い、2032年までに茗溪創基150年誌(仮称)の編纂を予定したい、また、企画としては、前倒し事業として「占春園再生プロジェクト」と「茗溪・筑波産業人倶楽部の設立」を、その他の企画としては、記



井口武雄 副理事長

念シンポジウム、オリンピック・パリンピック出場選手人名鑑(茗溪関係)、茗溪運動部関係部史の成立と現状等々を考えているとの報告があり、望まれる企画案があれば提案願いたいとの要請があった。

(2) 財政の健全化の提案

常務理事から、配布資料に基づき財政の健全化についての提案説明があり、了承された。

(3) 茗溪会拡充キャンペーン最終報告について

井口副理事長から、平成25年度から5年計画で3つの目標を掲げて始められた

茗溪会拡充キャンペーン活動は、昨年度で終了し、会員登録増及び会費等の収入増は課題が残る結果となったが、諸経費削減については目標を達成したとの最終報告があった。

(4) 地域組織等活動の活性化及び茗溪・筑波産業人倶楽部の設立について

川田組織委員会委員長から、茗溪会の同窓会としての互助事業の拡充を推進するため、地域組織等の新たな活性化を目指して精力的に協議を重ねてきた結果、本年3月の理事会で産業界等を中心とした新たな組織「茗溪・筑波産業人倶楽部」を設置し、「茗溪・筑波産業人倶楽部規約」を制定したこと、また、今後は各地域組織等との連携を踏まえつつ、首都圏、東京圏、近畿圏、北海道・東北圏、中国・四国圏、九州圏、国際組織における活動を展開していく計画であるとの報告がありました。



川田孝一 組織委員長

諸連絡等

(1) 会員登録・会費納入状況等について

室岡大塚事務所長から会員登録状況、会費納入状況等について説明がありました。

(2) 各地域組織からの提出・報告・連絡

文書について

室岡所長から、各地域組織等からの連絡文書について説明がありました。

(3) 関連法人の役員紹介等について

室岡所長から、関連法人である一般



室岡和彦 大塚事務所長

財団法人筑波学都資金財団の細田克男氏、福田滋氏及び信太郁夫氏の紹介があり、配布資料(パンフレット)により筑波研修センター及び筑波大学学生宿舍の概要についてそれぞれ説明があり、茗溪学園中学校高等学校の学校要覧パンフレットの紹介がありました。

第43回理事会報告

(新理事、新監事の紹介)

理事長から、新役員による第43回理事会が開催され、理事長には江田理事が選出され、副理事長には井口理事と阿江理事、また常務理事には高野理事がそれぞれ選出されたとの報告があり、退任された理事及び新任の理事並びに退任された監事及び新任の監事は、次の方であるとの紹介がありました。

◎退任理事・西川 潔、加藤充宏、五味田 優、坂下辰夫、守屋正彦

◎新任理事・真田 久、早川源一、平野正美、廣田則夫、守橋健二、

矢野正人

◎退任監事・田路至弘

◎新任監事・小泉淑子

閉会

江田理事長から閉会宣言がなされ総会は終了しました。

総会に引き続き、会場を4階に移して会員懇談会が開催され、江田理事長による挨拶、出席者による懇談が行われました。



平成29年度決算報告

貸借対照表

平成30年年 3 月31日

(単位：千円)

科 目	平成29年度
I 資産の部	
1. 流動資産	
現金預金	109,968
未収消費税	944
前払費用	0
流動資産合計	110,912
2. 固定資産	
固定性預金	246,486
建物	727,653
構築物	3,999
機械装置	2,496
什器備品	688
土地	314,776
固定資産合計	1,296,098
資産合計	1,407,009
II 負債の部	
1. 流動負債	
前受金	21,870
未払法人税	8,590
未払消費税	0
預り金	402
流動負債合計	30,862
2. 固定負債	
長期借入金	0
退職給与引当金	4,499
満期共済金引当金	26,600
保証金	1,410,000
修繕費積立金	1,000
固定負債合計	1,442,099
負債合計	1,472,961
III 正味財産の部	
一般正味財産	△65,951
正味財産合計	△65,951
負債及び正味財産合計	1,407,009

正味財産増減計算表

平成29年 4 月 1 日から平成30年 3 月31日

(単位：千円)

科 目	平成29年度
I 一般正味財産増減の部	
1 経常増減の部	
(1) 経常収益	
基本財産運用収益	
地代収入	58,900
建物賃貸収入	24,076
会費収入	
正会員受取会費	18,842
茗溪フェロー会費	2,482
事業収益	
委託料収入	2,612
広告料収入	3,890
寄附金	
寄附金収入	10,302
退職給付引当金取崩収入	
退職給付引当金戻入益	0
雑収益	
受取利息	19
駐車場利用収入	1,745
雑収益	1,496
経常収益計	124,365
(2) 経常費用	
事業費	
給与手当費	22,174
式典事業費	444
旅費交通費	747
負担金	260
通信運搬費	6,654
印刷製本費	3,398
水道光熱費	2,561
業務委託費	5,282
租税公課	22,111
修繕費	4,465
火災保険料	731
支払利息	0
助成金	9,822
退職給付費用	1,723
管理費	
監事報酬	100
臨時雇賃金	549
退職金	0
福利厚生費	34
総会諸費	1,240
会議費	449
旅費交通費	961
通信運搬費	1,621
什器備品費	612
消耗品費	260
印刷製本費	603
集金費	2,186
諸謝金	788
負担金	48
会員データ管理費	2,955
渉外費	136
賃借料	760
減価償却費	35,017
租税公課	8,590
雑費	24
経常費用計	137,304
当期経常増減額	△12,940
2 経常外増減の部	
(1) 経常外収益	
経常外収益計	0
(2) 経常外費用	
固定資産除却損	0
経常外費用計	0
当期経常外増減額	0
当期一般正味財産増減額	△12,940
一般正味財産期首残高	△53,012
一般正味財産期末残高	△65,951
II 正味財産期末残高	△65,951

収支計算書

平成29年 4 月 1 日～平成30年 3 月31日

(単位：千円)

I 事業活動収支の部	
1. 事業活動収入	
(1) 事業活動収入	
会費収入	21,324
正会員会費収入	18,842
茗溪フェロー収入	2,482
事業収益	89,478
地代収入	58,900
賃貸料収入	24,076
委託料収入	2,612
広告料収入	3,890
寄付金収入	10,302
寄付金収入	10,302
雑収入	3,261
駐車場利用収入	1,745
受取利息収入	19
雑収入	1,496
退職給付引当預金取崩収入	0
退職給付引当預金取崩収入	0
事業活動収入計	124,365
(2) 事業活動支出	
事業費支出	87,239
管理費	13,326
予備費	0
事業活動支出計	100,565
事業活動収支差額	23,800

平成30年度 一般社団法人 茗溪会 事業計画

1. 事業計画のねらい

- (1) 本年度は一般社団法人移行後7年目にあたり、将来を見通し、さらに事業を円滑に進めるための計画を実施する。
- (2) 茗溪会館の利活用を安定・向上させることを重点事業と捉え取り組む。
- (3) 平成28年作成の中期将来計画に基づき、継続して将来を見通し事業を展開する。
- (4) 地域組織等の活動の充実・活性化事業を推進する。
- (5) 新規会員の獲得・正会員の増加及び会費納入率アップのための組織的・計画的な活動を推進する。

2. 事業の目的 (定款第3条)

会員相互の親睦及び互助並びに知徳の啓発を図り、併せて国立大学法人筑波大学の目的及び使命の達成に協力し、学術、文化、教育並びに社会貢献活動及び国際相互理解の促進に資する事を目的とする。

3. 事業の内容 (定款第4条)

- (1) 会員相互の親睦を図るための交流事業並びに会員の福祉を図るための共済に関する事業
 - ① 「茗溪・筑波産業人倶楽部」の設立
 - ② ホームページの充実による交流促進
 - ③ 追悼のつどいの実施
- (2) 定期刊行物その他出版物などの発行に関する事業
 - ① 季刊誌「茗溪」の発行…年4回
- (3) 研修会、講演会、公開講座等会員その他の教養向上と地域社会への貢献に資する事業
 - ① 公開講座の実施
 - ② 地域組織等主催による公開講座への助成
- (4) 学術、芸術、社会貢献、国際相互理解等の顕著な活動に対する奨学、支援、表彰などに関する事業
 - ① 学生諸活動への助成事業
- (5) 財産の管理・運営に関する事業
 - ① 茗溪会館の利活用を安定・向上させる事業
- (6) 教育の振興、普及活動に資する事業
 - ① 筑波大学側と地域組織等との交流
 - ② 筑波大学就職ガイダンスへの協力
 - ③ 教職受験対策研修会の開催
- (7) 茗溪創基150年記念事業の準備
- (8) その他、この法人の目的を達成するために必要な事業

4. 前項の各事業は、全国において行うものとする

平成30年度予算書

平成30年4月1日～平成31年3月31日

(単位：千円)

科 目	30年度予算	科 目	30年度予算	科 目	30年度予算
I 事業活動収支の部		(2) 事業活動支出		総会諸費支出	1,240
1. 事業活動収入		事業費支出	81,321	会議費支出	650
(1) 事業活動収入		給料手当支出	22,700	旅費交通費支出	961
会費収入	21,324	助成金支出	5,400	通信運搬費支出	1,621
正会員会費収入	18,842	式典費支出	444	集金費支出	2,186
フェロー収入	2,482	旅費交通費支出	700	什器備品費支出	612
事業収益	90,577	負担金支出	250	消耗品費支出	260
地代収入	58,900	通信運搬費支出	6,654	印刷製本費支出	603
建物賃貸収入	25,175	印刷製本費支出	3,398	会員データ管理費支出	2,955
委託料収入	2,612	租税公課支出	30,701	諸謝金支出	788
広告料収入	3,890	業務委託費支出	5,282	負担金支出	48
寄付金収入	100	光熱水料費支出	2,561	渉外費支出	136
寄付金収入	100	火災保険料支出	731	賃借料支出	760
雑収入	3,261	修繕費支出	2,500	雑支出	24
駐車場利用収入	1,745	管理費	13,278	予備費	0
受取利息収入	19	監事報酬	150	事業活動支出計	94,599
その他雑収入	1,496	給料手当	0	事業活動収支差額	20,663
退職給付引当金取崩	0	臨時雇賃金	250		
退職給付引当金取崩	0	退職金支出	0		
事業活動収入計	115,262	福利厚生費	34		

平成30年(2018年)

暑中お見舞い申し上げます

一般社団法人 茗溪会

一般社団法人 茗溪会 理事長 江 田 昌 佑 (昭和30年卒教大体) 〒112-0012 東京都文京区大塚1-5-23 TEL 03-3491-0136	一般社団法人 茗溪会 副理事長 井 口 武 雄 (昭和40年卒東京教育大学法政) 三井住友海上火災保険㈱ 〒101-8011 東京都千代田区神田駿河台3-9 TEL 03-3259-3111	一般社団法人 茗溪会 副理事長 日本体育大学 教授 教育学博士 阿 江 通 良 (昭和48年卒教大体育) 日本体育大学 〒158-8508 東京都世田谷区深沢7-1-1 TEL 03-5706-0826 E-mail: ae@nittai.ac.jp
一般社団法人 茗溪会 事務局長 高 野 力 (昭和48年卒教大農木工) 大塚事務所長 室 岡 和 彦 (昭和44年卒教大数)(平成1年卒筑修教) 筑波事務所長 立 山 雅 博	一般財団法人 筑波学都資金財団 理事長 田 中 正 造 (昭和36年卒教大・健) 〒305-0005 つくば市天久保1-13-5 TEL 029-851-5152	学校法人 茗溪学園 茗溪学園中学校高等学校 国際バカロレアDPコーススタート 理事長 中 川 喜久治 校 長 田 代 淳 一 (昭和59年筑波大修士教育研究科・理科) 〒305-8502 つくば市稲荷前1-1 TEL 029-851-6611
一般社団法人 茗溪会 理事 組織委員会 川 田 孝 一 委員長 (昭和39年卒教大総農科) “茗溪・筑波産業人倶楽部は、全国の仲間や筑波大学 卒業生に役立ち、勇気を与える活動を目指します！” 〒194-0045 町田市南成瀬5-29-6 TEL 042-728-5423 連絡先 桜美林大学入試事務室 相談役 TEL 042-797-6196	一般社団法人 茗溪会 理事 株式会社 ユーハイム 代表取締役 河 本 武 会長 (昭和37年卒体育学部健康学科) 〒150-0001 東京都渋谷区神宮前6-2-9	一般社団法人 茗溪会 理事 筑波大学 佐 藤 忍 副 学 長 (昭和60年卒筑博生物) 〒305-8572 つくば市天王台1-1-1 生命環境系 TEL 029-853-4672 E-mail: sato.shinobu.ga@u.tsukuba.ac.jp
一般社団法人 茗溪会 理事 柴 田 淳 (昭和52年卒教大体) (昭和56年卒筑修体) 〒112-0012 東京都文京区大塚1-5-23 TEL 03-3491-0136	一般社団法人 茗溪会 理事 福岡経営労務事務所 所長 福 岡 一 雄 社会保険労務士 (昭和32年卒教大法政) 〒125-0042 東京都葛飾区金町3-27-3 TEL 047-361-2618 FAX 047-361-2643	一般社団法人 茗溪会 監事 飯 塚 良 成 (昭和63年卒慶大商) 〒112-0012 東京都文京区大塚1-5-23 TEL 03-3491-0136
一般社団法人 茗溪会 秋田茗溪会 支部長 越後谷 真 悦 (昭和55年筑体育) 事務局長 小 林 大 輔 (平成11年卒筑一自然) 〒010-0101 秋田県潟上市天王字追分西26番地の1 秋田県立秋田高等学校校内	一般社団法人 茗溪会 山形茗溪会 支部長 津 田 浩 (昭和58年卒筑一自) 事務局長 仁 藤 誠 (平成2年卒筑体) 〒990-2492 山形市鉄砲町2-10-73	一般社団法人 茗溪会 石川茗溪会 支部長 濱 辺 正 実 (昭和53年卒筑体) 幹事長 松 本 彰 (昭和50年卒教大体) 〒921-8034 金沢市泉野町3-7-11
一般社団法人 茗溪会 三重茗溪会 会 長 阿 形 克 己 (昭和57年卒筑体) 三重県立稲生高等学校 校長 Email mie@meikei.or.jp	一般社団法人 茗溪会 岡山茗溪会 支部長 長 尾 隆 史 (昭和55年卒筑体) 事務局長 黒 住 伸 吾 (昭和56年卒筑体) 〒703-8278 岡山市中区古京町2-2-21	一般社団法人 茗溪会 愛媛茗溪会 会 長 八 木 俊 博 (昭和57年卒筑体) 事務局長 渡 邊 洋 人 (昭和59年卒筑三社工) 〒790-8521 松山市持田町2-2-12 愛媛県立松山東高等学校校内

占春園再生プロジェクト

茗溪会理事

水戸市植物公園園長 西川 綾子

◆占春園とは

1月に、茗溪会館で行われた会議に出席した時、東京教育大学卒の先輩方が占春園について意見交換をなさっていました。筑波大学卒の私には「せんしゅんえん」の読み方さえもわからない、未知の存在でした。

「ここからすぐだから、昼休みに行ってみると良い。春をひとり占めできる庭だから占春園と言うんです。」

この一言で庭園を見たくなくなって昼食を早めに済ませ、NHK放送大学前を通って、現れたのが庭園というよりも木々がうっそうと茂る暗い森でした。

「これが占春園。どうみてもステキな庭園とは思えない。誰からも愛されない可哀想な庭。」それが私の第一印象でした。

周辺にある石碑やネットで情報を調べると、徳川光圀の異母兄弟である松平頼元が上屋敷を構えた庭園の名残で、江戸の三名園（青山の池田邸、溜池の黒田邸）の一つと言われたそうです。園内には嘉納治五郎先生の銅像や、昭和天皇行幸の記念碑もある由緒正しい庭園でした。現在では、筑波大学附属小学校の自然観察の場となっており、所有は筑波大学、管理は文京区も関わっているようです。

◆日本庭園の視点から

その後、春になってから日本庭園研究家の友人と事務局と共に、再び占春園を訪れました。その友人いわく、「日本庭園にありえない植物がいっぱい。まずは不要な

植物の掃除からだね。全体が見違えるように明るくなりますよ。」不要な植物の除去、樹木が倒れて来そうな土留めの改修、池の浚渫などすべきことが山のようにあります。

◆歴史の情報不足

目指したいのは日本庭園の復元です。江戸時代の情報を集めて、庭園がスタートした時代のように春をひとり占めできるような、花木が咲く庭に戻したいものです。水戸藩にも関係するので水戸市立博物館の前館長に聞いてみましたが情報なし。文京区のあるさと歴史館に問い合わせてもらいましたがこちらもダメ。先輩方から占春園に関する情報を大募集して、歴史の扉を開けないといけません。これが最大の難関かもしれません。

◆今後の予定

占春園の再生について多くの方から寄付金をいただき、皆様の思いを庭園の再生に利用させていただけるのは、大変ありがたいことです。東京オリンピックの時、バツハ会長が嘉納治五郎先生の銅像を訪ねることが予想されるので、2020年夏までに入り口から銅像までは何とかしたい、と事務局から伺っています。

しかし茗溪会だけでできる事業ではありません。筑波大学関係はもとより、東京都や文京区など地域住民のご協力もいただきながら文化的・教育的利活用をはかる仕組みを構築することが大切です。各組織と調整をはかりながら歴史（松平頼元関係）や日本庭園の情報収集、現況調査および現場作業の工程管理、情報発信にボランティアの募集などが考えられます。

平成30年度茗溪会総会において、このプロジェクトについても事務局から説明があり、本格的にスタートします。私も水戸から東京に通うのはかなりの試練と思いますが、会員の皆様も人手が必要なおりに、ぜひご参加をお願いします。皆様で春の花咲く占春園で園遊会が開ける日を夢見ています。



2018年3月の占春園

前号の「占春園再生プロジェクト協力者」芳名の表記に誤りがありましたので訂正いたします。

(敬称略)

- | | |
|-------------|-------------|
| (正) 五十嵐治也 | (誤) 五十嵐浩也 |
| (正) 高田 博志 | (誤) 高田 博史 |
| (正) 内野 晴喜 | (誤) 内藤 晴喜 |
| (正) 山岳部OB会 | (誤) 山岳部OB会 |
| (正) 東京教育大駒場 | (誤) 東京教育大駒場 |
| 林学会 | 木桜会 |

【お願い】

占春園に関する古い資料をお持ちの方は、事務局までご連絡いただきましたようお願いいたします。

「宣揚歌」覚書き

筑波大学人文社会系教授 伊藤 純郎

はじめに

平成29年4月に発行された本誌第1093号に掲載された茗溪会常務理事高野力氏の「宣揚歌」誕生物語」は、大正8（1919）年12月に最高潮となった東京高等師範学校の大学昇格運動とその中で誕生した「宣揚歌」桐の葉についての論考である。このなかで、「宣揚歌」の歌詞は、次のように紹介されている。

一、桐の葉は木に朽ちんより

秋来なば先駆け散らん
名のみなる廃墟を捨てて
醒めて立て男子ぞ我等

二、日の本の教への庭に

いと高き学舎やありと
人も知る茗溪の水
よし涸れよ濁さんよりは

（作詞 大和資雄）

一方、本年1月に発行された本誌第1096号に掲載された「特集 人間 嘉納治五郎を語る」の第3回「教育のこと、天下これより偉なるはなし」教育者としての嘉納治五郎」において、「宣揚歌」の歌詞は、次のように記されている。

一、桐の葉は木に朽ちんより

秋来なばさきがけ散らん
名のみなる廃墟を捨てて
醒めて立つ男の子ぞ我等

二、日の本の教への庭に

いと高き学舎ありと

人も知る茗溪の水
よし涸れよ濁さんよりは

（作詞 大和資雄）

二つの歌詞を比べると、「先駆け」／「さきがけ」、「醒めて立て」／「醒めて立つ」、「男子」／「男の子」、「学舎や」／「学び舎」の四か所で表記が異なることがわかる。

「宣揚歌」の初出

私は、平成23（2011）年5月に発行された生誕150周年記念出版委員会編『気概と行動の教育者 嘉納治五郎』（筑波大学出版会）において、第2章「教育者としての嘉納治五郎」第3節「大学への昇格運動」を執筆した。そのなかで、「本科2年城生資雄が作詞した宣揚歌『時は来れり』」の歌詞を、次のように記した。

一、桐の葉は木に朽ちんより

秋来なばさきがけ散らん
名のみなる廃墟を捨てて、
醒めて起つ男の子ぞ我等

二、日の本の教への庭に

いと高き学舎ありと
人も知る茗溪の水
よし枯れよ濁さんよりは

拙稿の表記は、現時点で「宣揚歌」の歌詞が最初に掲載されたと考えられる東京高等師範学校校友会の雑誌『校友会誌』第66号「宣揚号」（大正9年3月発行）の扉の裏に、楽譜（数字譜）とともに掲げられた「宣揚歌」の歌詞を典拠とした（13頁図「宣揚歌」）。

先の2つの歌詞と比べた時、「醒めて立て（立つ）」／「醒めて起つ」、「教への庭に」／「教への道に」、「よし涸れよ」／「よし枯れよ」の三か所が大きく異なることがわかる。

ところが、同誌には、12月15日に行われた「第5回学

生大会」の写真が掲載され、会場演壇に掲げられた「宣揚歌」の歌詞は、次のように読み取ることができる。

一、桐の葉は木に朽ちんより

秋来なば魁け散らん
名のみなる廃墟を捨てて、
醒めて立つ男子ぞ吾等

二、日の本の教の道に

いと高き学舎ありと
人も知る茗溪の水
よし涸れよ濁さんよりは

ここでは「魁け」、「立つ」、「吾等」、「涸れよ」と表記されている。

周知のように「宣揚歌」は、12月6日に行われた「第3回学生大会」に向けて作成されたものである。

「宣揚歌」を作詞した城生（のちに大和に改姓）資雄の回想によると、大正8年12月5日の午後、実行委員会本部に呼ばれ、「明朝までに宣揚歌を作れと頼まれた」城生は、「新聞紙に筆で、「桐の葉は木に朽ちんより、秋来なばさきがけ散らん」の歌二連を、「人も知る茗溪の水、よし涸れよ濁さんよりは」まで、一気に書き上げ、「昔の早慶戦の応援歌の曲譜に合わせて披露したら」、「たちまち歌声が室中に満ち、故高井君らが早速この歌詞を謄写した。そして夕食の時それが食堂で寮生に配られ、故横尾真太郎君がピアノの上に立って音頭をとり、あれよというまに「桐の葉」の歌声は全寮に拡まってしまった」という（大和資雄「桐の葉」の歌、『茗溪』第84号、昭和37年7月）。

「宣揚歌」は、最初、新聞紙に記され、その後、謄写版のものが寮生に配布されたのである。

続いて、「宣揚歌」の歌詞が披露されたのは、3月20日付で茗溪会が発行した『教育』第43号（母校昇格運動号）に掲載された本科3年市村清次郎「昇格運動経過の報告」である。

同稿では、第3回学生大会で「高唱」された宣揚歌『時は来れり』の歌詞は、次のように記されている。

一、桐の葉は樹に朽ちんより

秋来なば魁け散らん

名のみなる廢墟を捨て、

醒めて起つ男の子ぞ我等

二、日の本の教の道に

いと高き学び舎ありと

人も知る茗溪の水

よし涸れよ濁さんよりは。

その後、「宣揚歌」が披露されたのは、大正12年6月30日付で発行された『校友会誌』第73号である。澁谷眞衛「昇格問題の回顧」のなかで、次のように記されている。

一、桐の葉は木に朽ちんより

秋来なばさきがけ散らん。

名のみなる廢墟を捨て、

醒めて起つ男の子ぞ我等。

二、日の本の教への道に

いと高き学び舎ありと。

人も知る茗溪の水

よし。枯れよ濁さんよりは。

以上から、名称や「桐の葉」／「時は来れり」や歌詞など、「宣揚歌」は誕生直後から異同や混乱があったことがうかがえる。

その後の「宣揚歌」

「宣揚歌」の歌詞は、その後、どうなったのだろうか。満州事変が起きた昭和6（1931）年10月30日付で発行された東京文理科大学・東京高等師範学校編『創立六十年』（東京文理科大学）に掲載された「桐の葉」の歌詞は、次のようなものである。

一、桐の葉 木に朽ちんより

秋来なば先駆け散らん

名のみなる廢墟をすて、

さめて立つ男の子ぞ我等

二、日の本の教への庭に

いと高き学び舎ありと

人も知る茗溪の水

よし枯れよ濁さんよりは

注目したいことは、「教への道」が「教への庭」となっていることである。現在歌われている「宣揚歌」の「教への庭」は、この『創立六十年』に掲載された歌詞を受け継いだものと考えられる。

では、「醒めて起つ」の歌詞が、現在のような「醒めて立て」に変わったのはいつ頃のことだろうか。

「宣揚歌」の歌詞の校訂を行った人文社会系山澤学准教授によると、昭和30年7月に発行された『東京文理科大学閉学記念誌』（東京文理科大学）では「醒めて起つ」となっているが、昭和32年3月に茗溪会出版部が編集した『茗溪歌集』では「醒めて立て」（「先駆け」）となっている。また、昭和53年2月に発行された『東京教育大学概要 閉学記念特集』（東京教育大学）に、「大山信郎現学長」が作詞した3番とともに掲載された「桐の葉（宣揚歌）」では「醒めて立つ」であるが、同年7月に刊行された鈴木博雄『東京教育大学百年史』（図書文化社）では「醒めて起て」となっている。そして、その後の刊行物・テキストの多くは、「醒めて立て」／「さめてたて」になったという（山澤学「桐の葉」覚書、筑波大学日本史研究会『会誌』第4号、平成3年11月。山澤学「筑波大学附属図書館展示ブログ 開拓者よもやま話 第9講 校友の愛唱歌」、<http://www.tulips.tsukuba.ac.jp/exhibition/blog/index.php?eid=172> 平成25年11月12日）。

「宣揚歌」の歌詞は、時代のなかで変化をとげてきたのである。

おわりに

本年1月17日、総合科目Ⅰ（初年時導入科目）「筑波大学と嘉納治五郎―逆らわずして勝つ―」において、「大学への昇格運動と宣揚歌」を担当した私は、講義のなかで「宣揚歌」を歌うことが出来る学生に挙手を求めた。しかし、110人の受講者のなかで「宣揚歌」を歌えると言えた学生はわずか5人で、陸上部に所属する学生達であった。「筑波大学と嘉納治五郎」を受講するほとんどの学生が「宣揚歌」を歌えないのである。

東京高等師範学校・東京文理科大学・東京教育大学、そして筑波大学で校友・同窓の愛唱歌として歌い継がれた「宣揚歌」は、今や「絶滅危惧歌」になりつつあるようだ。

そうした点をふまえると、現在、考えなくてはいけないことは、「宣揚歌」の歌詞うんぬんよりも、「宣揚歌」を若い学生達にどうやって継承していくかということかもしれない。

城生賢雄作

一、桐の葉は木に朽ちんより

秋来なばさきがけ散らん

名のみなる廢墟を捨て、

醒めて起つ男の子ぞ我等

二、日の本の教への道に

いと高き学び舎ありと

人も知る茗溪の水

よし枯れよ濁さんよりは

「宣揚歌」

（『校友会誌』第66号、大正9年3月）

筑波大学は今

スイスオリンピック協会と 事前キャンプ基本合意書を締結

4月11日、スイス・ローザンヌにおいて、スイスオリンピック協会、本学、茨城県、つくば市の4者による2020年東京オリンピックに向けたスイスオリンピック選手団の事前キャンプに関する基本合意書が締結されました。

スイスオリンピック協会は、この合意書に基づき、本

学のトレーニング施設や専門性の高いフイジカルケアを活用し、柔道、陸上競技、体操競技のチームがキャンプを実施することを決定しました。



左からつくば市 五十嵐市長、本学 永田学長、スイスオリンピック協会 ラルフ・シュトックリー東京2020ディレクター、茨城県 大井川知事

第1回日露大学協会総会に ベントン副学長が出席

5月20日、第1回日露大学協会総会（第7回日露学長会議）が札幌で開催され、ベントン キャロライン副学長（国際担当）が出席しました。

日露大学協会は、日本とロシアの加盟大学がプレゼン



ベントン キャロライン副学長

スを高め、双方の大学間交流を進展させるために連携を図ることを目的として、2016年の日露首脳間での合意を受けて設立されたもので、本学を含め双方の25大学が加盟しています。

本総会の

分科会では、

ベントン副学長が、「ロ

シア語圏諸国を対象とした産業界で活躍できるマルチリンガル人材育成プログラム」における医学分野での学生交流について発表しました。

同プログラムでは、日本・ロシア双方の大学病院で1〜2ヶ月の臨床実習を行う「医療実務研修」や、ロシアの医科系大学や病院等を訪問し、医療事情を学ぶ「医療視察研修」などを実施しており、



システム情報系の鈴木健嗣教授の授業「AIって」



下田臨海実験センターからやってきた海の生き物

Tsukuba Global Science Week (TGSW) 2018 筑波大学科学技術週間 キッズ・ユニバーシティ

4月21日に、毎年恒例の科学技術週間のイベント「筑波大学 キッズ・ユニバーシティ」を開催しました。

筑波大生になって科学の面白さや大学の魅力を体験してもらおうと、特別授業、体験教室、工作教室、観察ツアーなど、たくさんの方の企画を用意。7回目となる今年は天候にも恵まれ、親子連れなど550名あまりが訪れました。



TGSWは世界中の研究者が筑波研究学園都市に集い、さまざまなセッションで、市民や学生と知恵を共有し、解決策を議論する場です。

9回目を迎える今年は、Driving Sustainable Development、持続可能な開発の推進をテーマに開催します。

日時：2018年9月20日（木）～22日（土）

会場：つくば国際会議場

参加費：無料

WEB：https://tgs.w.tsukuba.ac.jp/

主催：筑波大学

後援：内閣府・文部科学省・経済産業省・茨城県・つくば市

筑波大学女子

ハンドボール部

創部50周年



筑波大学女子ハンドボール部は2017年度に創部50周年を迎えることができました。これもひとえに、ハンドボール愛があつてこそ、また長年に渡りご理解、ご支援いただいた皆様のおかげと心から感謝申し上げます。2018年2月17日土曜日、卒業生と現役学生合同での記念交流試合、それに引き続いてオークラフロンティアつくばで記念祝賀会を開催いたしました。交流試合には54名、祝賀会には109名と子供たちが出席し、笑顔と話のつきない大変盛況な会となりました。

前部長であり、OG会

会長である河村レイ子先生のあいさつで開会した交流試合は、『ハンドボール競技をとおして往時を懐かしみ、楽しみながら親睦を深めること』を目的とし、筑波大学ハンドボールコート（通称デコ）で行われました。かつて軽々と投げていた2号球トップスピードに乗ったときの風を切る感覚やステップのリズム、ジャンプしたときの高さなどは、なんとなく体が記憶しているとはいえ、以前のようにはプレーできません。しかし、さすが元トップアスリート。試合をこなすと共に仲間の技術や考え、自分の限界を理解し、

怪我もなく、笑いあり、感動ありの素晴らしい大会となりました。

また祝賀会は、『50周年の歴史を振り返るとともに関係する皆様に感謝する』、『次世代へのスムーズな継承を行う』をテーマといたしました。このテーマに相応しく、歴代の監督である大西武三先生、水上一先生、そしてトレーニングプログラムに関わって下さっていた高松薫先生に来賓としてご参加いただき、会は華やかにスタートいたしました。久しぶりの恩師との再会、同期との再会に話の尽きない様子ではありましたが、後半には2つ目の『継承』のテーマの元、アイズブレイクのプログラムを全員で行いました。ゲームをしながらグループを作り、自己紹介を行うという簡単なものですが、世代を超えてグループを作り、互いを知ることによって筑波大学ハンドボール部としての繋がりを実感することが出来たのではないのでしょうか。

また、50周年記念事業による賛助を得て、2017年12月25日から2018年1月1日に現役学生がオランダ遠征を行いました。祝賀会の中ではこの報告が行われました。オランダのクラブチームBredaやオランダU-18代表との合同練習では、ハンドボールの要素が組み込まれたサーキットトレーニングや水中で自転車漕ぐトレーニング「アクアスピン」など、幅広いトレーニング方法を知ることができました。またBreda、オランダ1部チーム、オランダU-18代表、リトアニアU-18代表、ベルギーフル代表との試合を行い、日本では体験できない海外トップ選手の当り前の強さやシュートテクニック、パワーなど多くのものを肌身で感じる事ができたこと、さらに、地元小学生を対象としたハンドボールクリニックの開催をはじめとした交流も行い、チームにおいても、個人においてもさまざまな面でプラスとなる経験ができたとの報告を受けました。この経験を活かし、春・秋リーグ、インカレ優勝に向けて是非とも頑張ってくださいと願います。50周年を記念し、会の出席者の投票により選ばれた、「IMAGINE THE FUTURE」未来を想え」という文字を記した新しい横断幕が贈られました。

筑波大学女子ハンドボール部創部50周年記念祝賀会

祝賀会は、次の60周年記念開催へ向け、筑波大学ハンドボール部の更なる発展を祈り、桐の葉斉唱ならびに恒例の大西武三先生によるエールで閉幕となりました。これからもあらゆる方から信頼され愛される部であるべくハンドボール界、そしてそれぞれの場で明日からまた精進を重ねていこうと思いを新たに帰路につきました。

（平成21年卒 岸本千紗 旧姓：長谷川）

21世紀の茗溪会地域組織等の新たな活性化に向けて

茗溪会「茗溪・筑波産業人倶楽部」の発足

茗溪会の仲間に役立ち、 より絆を深める互助事業の推進

茗溪創基150年に向かって

◎はじめに

一般社団法人茗溪会は、平成28年1月26日新法人発足3年を経過して「レビュー」と中期将来計画」を今後の運営の基本大綱として位置づけました。今後の茗溪会は「同窓会としての互助事業の拡充」を主なミッションとしています。具体的には、各地域組織等の活性化を目指した個々の活動支援の改善や応援体制をより一層強化、推進を図るという事です。

◎全国実態調査の実施

組織委員会としては、基本大綱を踏まえ、何をなすべきかという視点から事業の実施計画について協議を重ねました。

また、江田昌佑理事長からは、大切なことは本部からの押し付けではなく、各地域組織等の主体性を尊重する方向で検討するべきとの指示がありました。

先ず、平成28年7月に各地域組織

ブロック別	地 域 組 織 等
北海道・東北	北海道、青森、岩手、秋田、宮城、山形、福島
関東甲信越	茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、山梨、新潟、長野
北陸・東海	富山、石川、福井、愛知、岐阜、三重、静岡
近 畿	滋賀、奈良、和歌山、京都、大阪、兵庫
中国・四国	岡山、広島、鳥取、島根、山口、香川、徳島、愛媛、高知
九州・沖縄	福岡、佐賀、長崎、大分、熊本、宮崎、鹿児島、沖縄

等の現状や課題及び本部への要望等について全国実態調査を行いました。おかげさまで、回答率約8割という極めて高い反応がありました。

組織委員会はこのことは全国の仲間の茗溪会に対する強い期待感の現われと感動するとともに調査結果を活かした地域組織等の新たな活性化に向けた事業化について緊張感を持って協議を進めてきました。

◎全国調査結果を踏まえた二つの事業

(1) 仲間の顔が見える隣接間地域組織等交流

次の事業は、九州地区の代表者から「私たちは、地震等の自然災害を受け、その復興に向けて日々努力しているが、日頃から隣接地域間での交流があると心強い。」という提言を受けたものです。平成29年度から「ブロック別代議員懇談会」と「ブロック別代表者会議」を実施しています。

【ア】ブロック別代議員懇談会

第1回ブロック別懇談会は、平成29年5月24日の定時総会の後に行いました。主な議題は、(ア)自己紹介・顔合わせの第1歩、(イ)隣接地域組織間での公開講座等への相互交流、(ウ)メールアドレスを活用した日常的情報交流等でした。その他に、東海・北陸ブロック及び近畿ブロックでは、第1回ブロック別代表者会議の実施についても協議されました。

第2回ブロック別代議員懇談会は、平成30年5月24日に前回同様、定時総会後に行われました。主な議題は、(ア)会員確保、(イ)会費納入率の向上、(ウ)茗溪・筑波産業人倶楽部(後掲)発会式への参加等でした。特徴は、2回とも各ブロックに本部理事が参加し、本部と各ブロックが一体となった懇談会の開催です。江田理事長が話されている「茗溪会は、各地域組織等の集合体である。」の具体的なもの一つであると言えます。

【イ】ブロック別代表者会議

代表者会議は、全国の地域組織等を10に区分する中で社会動態等を勘案し、表の6ブロックで行います。次のブロックは、平成29年度に第1回代表者会議を実施し

ました。

(ア) 2月11日

関東甲信越

会場 茗溪

会館

(イ) 6月3日

近畿

会場 ホテ

ルサンル

(ウ) 7月2日

北陸・東海

会場 ホテ

ルブラ山

王

平成30年度は、

11月に北海道・

東北ブロックが

仙台市内で実施する計画を立てています。特筆すべきは、

江田理事長が全ての会場に行き、茗溪会に対する信念を

語っておられることです。

なお、6月30日には、第2回近畿ブロック代表者会議

が予定されています。

今後は、中国・四国ブロックと九州・沖縄ブロックで

も代表者会議の開催に向けた論議が行われることを期待

しています。

(2) 茗溪・筑波産業人倶楽部の発足

多くの代表者から「会員の確保について努力しているが、教育界以外で活躍している筑波大学卒業生の状況がわからないので、何とかできないか。」との意見が出されました。

茗溪会の現状は、茗溪創基150年を迎える中で、東京教育大学以前の卒業生にとっては、就職後の職場には茗溪会があり、教育界全体に幅広いネットワークが構築されています。

一方で、総合大学である筑波大学の卒業生は、多彩な



ブロック別代議員懇談会

業界で活躍していますが、同窓会としてのネットワークが必ずしも十分とはいえない現状にあります。

また、母校、筑波大学の歴史が半世紀に届こうとしている中で、茗溪会や各職場等の同窓会の仲間の多くが、筑波大学で占められるようになってきています。

このような背景の下で、平成29年3月から茗溪会会員で産業界の指導的立場で活躍している方や筑波大学卒業生で構成している「筑波みらいの会」の役員の方々が、月1、2回のペースで茗溪会館に集まり「産業界を中心とした情報交換等の互助事業の具体化に向けて」というテーマで平成30年3月まで集中的議論を積み重ねていただきました。

主な議題は、互助事業実施の中核となる新しい組織の名称、目的、事業名、構成員、事業内容等についての熱い協議でした。

世に「時は、金なり！」という言い伝えがありますが、多忙な日程の中で出席された皆さんの母校と茗溪会に対する情熱を感じる精力的な議論がなされました。



定時総会風景

【ア】茗溪・筑波産業人倶楽部の設置

茗溪会は、1年間の関係者による議論を踏まえ、平成30年3月の定例理事会で産業界等を中心とした新たな組織として「茗溪・筑波産業人倶楽部」の設置を決定し、翌4月の理事会で「茗溪・筑波

産業人倶楽部規約」を定めました。

その概要は、次のとおりです。

ア この規約

の目的は、行政・産業界等を中心とした「茗溪・筑波産業人倶楽部（以下、「産業人倶楽部」という。）の構成及び事業運営に関し、

必要な事項を定めることである。

イ 産業人倶楽部の構成員は、茗溪会会員とする。

ウ 産業人倶楽部は、会員相互の親睦、互助、情報交流等を結束して実施すると共に筑波大学学生等の支援に資するため、次の事業を行う。

(ア)講演会 (イ)親睦会 (ウ)シンポジウム等

エ 産業人倶楽部の茗溪会の担当委員会は、組織委員会とし、関係組織等の連携業務を行う。事務局は、大塚事務所と筑波事務所とする。大学窓口は、筑波大学事業推進室とする。

以上が、産業人倶楽部の規約の柱ですが、規約の検討の段階で慎重に論議した事項の一部を紹介します。

一つ目は、新しい組織の名称に関するものです。いくつかの名称案が出ましたが、倶楽部」に期待するものは、異業種交流の場として、仲間による密なる情報交流」を目標としていくことの発想によるものでした。

二つ目は、構成員は「茗溪会会員とする」の部分です。「茗溪会会員」の前に（原則として）という文言を加える



ブロック別代議員懇談会(近畿)

かどうかをめぐる協議も行いましたが、産業人倶楽部の構成員のステータスが大切との結論となりました。

【イ】茗溪・筑波産業人倶楽部発会式に向けて

平成30年4月理事会では、産業人倶楽部の設置に伴い、7月22日(日)に茗溪会館で産業人倶楽部の発会式を行うことを決めました。

このことは、茗溪会第7回定時総会でも報告すると共に、産業人倶楽部の規約と発会式のご案内を資料として全国の代議員に配布しました。更に、代議員によるブロック別懇談会の議題としても発会式への参加等について協議が行われました。

江田理事長は、第7回定時総会で「茗溪創基150年記念事業は、茗溪の仲間」に役立ち、より絆を深める互助の事業」であり、次世代への伝統継承の事業として計画したい。」と語っておられました。

更に、産業人倶楽部の発足は、茗溪創基150年記念事業の前倒し事業の一つと位置付けています。産業人倶楽部の活動は、今後、各地域組織等との連携を踏まえ、首都圏、中京圏、近畿圏、北海道・東北圏、中国・四国圏、九州圏、国際組織における活動を展開していく計画です。

7月22日の産業人倶楽部の発会式では、江田昌佑理事長の「茗溪・筑波産業人倶楽部に期待する」を主題とした基調講演や茗溪会理事河本 武氏と筑波みらいの会会長廣田則夫氏による「なぜ今、交流が必要なのか」をテーマとしたシンポジウムを予定しています。その後、出席者による懇親会も計画しています。

情報化時代において、産業社会等では適切な情報交流等により、個々の産業人の適切な「情報判断能力」に基づく、磨きをかけた賢さと迅速な実践力が重視されています。

茗溪・筑波産業人倶楽部の活動は、全国で活躍する仲間や筑波大学卒業生に役立ち、勇気を与える原点となることを目指しています。産業人倶楽部の発会式に多くの仲間が出席されるよう祈念しています。

(文責：組織委員会 委員長 川田孝二)

平成30年5月25〜26日開催

第44回やどかり祭を終えて

第44回筑波大学宿舍祭実行委員会

委員長 上田 悠 登

(知識情報・図書館学類3年)

やどかり祭は大成功でした

こんにちは。第44回筑波大学宿舍祭実行委員会委員長の上田悠登です。まず初めに、ご支援ご協力頂いた方々のおかげで、第44回やどかり祭を無事終えることができました。また、無事に終えただけでなく、ご来場者の皆さまや企画に参加していただいた方々のたくさんの方々の笑顔のおかげで、第44回やどかり祭は大成功だったと胸を張って言えます。誠にありがとうございました。

天候に恵まれ、すべての企画を実施できました

今年は前夜祭・本祭ともに素晴らしい天気にも恵まれ、祭を行うことができました。私が1・2年生の頃のお祭



委員長

りは、どこかしらで雨が降り、何らかの企画を中止せざるを得ませんでした。しかし、今年は予定していたすべての企画を行うことができました。

執行代である

2年生と、新

しく入ってく

れた1年生が

約1ヶ月半か

けて準備して

きてくれたも

のが、無事、

実を結べたこ

とを委員長と

して嬉しく思

います。また、

祭の規模とし

ましては、前

夜祭・本祭と

合わせると6

000人を超

える来場者が

いらっしやっ



ゆかたコンテスト

たと報告を受けております。当日は会場内の見回りを行っておりましたが、メインストリートが人でいっぱいの様子を見て、驚きつつも、「我々のつくる祭にこれほど多くの人がご来場いただいているんだ」と嬉しさに頬が緩みました。これも、晴れの神が雨の神に打ち勝ち、我々の味方をしてくれたことと深く感謝しています。

やどかり祭は伝統ある祭です

今年で第44回を迎えたやどかり祭ですが、筑波大学開学とはほぼ同時期に生まれた伝統ある祭です。2年前、実行委員に入った当初は憧れていた、その祭の委員長という役職を先代から引き継いだ時は、不安しかありませんでした。しかし、慕ってくれる後輩、支えてくれた同期、見守ってくれた先輩方、本当に多くの仲間のおかげで、なんとか祭を終え、次の代へと委員長の赤い法被を繋ぐことができました。サークルの仲間には、ただただ感謝の気持ちでいっぱいです。

やどかり祭のコンセプト

やどかり祭は、今では「新入生に仲良くなってもらう機会を提供する」をコンセプトに行われています。新入生の皆さんは、ゆかたコンテストや御輿などの各企画や模擬店に参加してくれましたか？ゆかたコンテストではグランプリを目指し、何度もパフォーマンズの練習をし、時に完成度に納得がいかず衝突が起こり。御輿では長くも短い製作期間の中、放課後毎日制作場所に向かいイメージしたものを完成へと近づけていきました。模擬店では当日声を張り上げ一人でも多くのお客さんに買ってもらおうと、額に汗して呼び込みました。やどかり祭に参加してくれた人には、一人一人に色々なドラマがあったことでしょう。そして祭を終えた後には、嬉しさ、悔しさ、達成感。様々な感情とともに、たくさん仲間ができたことでしょう。祭の思い出と、新しくできた仲間とともに、これからの大学生活を楽しんでいってもらえればと思います。



神輿パフォーマンス



「祭馬鹿」の看板



今年のテーマについて

さて、今年の祭のテーマは「祭馬鹿」今年もみんなで「祭馬鹿」でした。授業の単位を落とすまい、同じ授業を受けることを再履修と言うのですが、それと祭をかけた合わせたユーモアあふれるテーマでした。第44代委員長として、今年にとどまらず、来年も、その先もずっと、「祭馬鹿」達が「祭馬鹿」してくれることを祈っています。



最後に

最後になりましたが、改めて、祭の趣旨にご賛同いただきご支援いただいた協賛店舗・団体の皆様、祭を盛り上げるために出演してくださった団体の皆様、祭を運営するにあたってお力添えしていただいた大学関係者の皆様には心より御礼申し上げます。第44回やどかり祭は皆様のおかげで成功を収めることができました。ありがとうございました。



神輿パフォーマンス



著書紹介



『西川綾子の花ぐらし』

～育てる・彩る・愛でる～

著 者…西川 綾子（58年筑二農）

本の大きさ…四六判 全233頁

発行 所…（株）創森社

発行年月日…2018年1月22日

幼いころから花が大好きで、長年勤める植物公園で花の仕事をしていても足らず、自宅でもハーブ、イングリッシュローズ、ヘメロカリス、食虫植物、ギボウシ、サザンカ、ツバキ、山野草、洋ランなど、多くの花たちに囲まれて暮らしています。私のまわりで咲いていた花にかかわる思い出のワンシーンをみなさまにお届けいたします。

（本文から）

目次概要

- 第1章 春の花にときめく
- 第2章 夏の花を愛でて
- 第3章 秋の花を慈しむ
- 第4章 冬の花にひかれて

（茗溪会事務局）

茗溪・東西南北

山形茗溪会活動報告

平成29年度、山形県では47年ぶりの本県開催となる全国高等学校総合体育大会が本県を幹事県として宮城・福島・山形の南東北三県で、「繋がる絆 魅せよう僕らの若き力」のスローガンのもと開催され、熱戦が繰り広げられました。本県においては9競技10種目が行われ、選手・



監督・応援のかたがたはもとより、多くの茗溪関係者もお迎えし、大会を盛り上げていただきました。お陰様をもちまして大会が大成功のうちに終了することができました。深く感謝申し上げます。

さて、平成29年度の茗溪会山形県支部総会は、12月2日(土)、山

形市内の「ホテルキャッスル」にて開催し、25名が参加しました。会では、平成28年度事業・決算報告の後、平成29年度の役員・事業計画・予算が承認されました。毎年恒例になっている記念写真を撮影し、引き続き懇親会を開催しましたが、参加者による近況報告や思い出話を聞くことにより、若かりし頃の記憶がよみがえったり先輩会員の貴重なアドバイスをいただいたり、大変有意義な時間となりました。懇親会の最後には、これも恒例になっている参加者全員が輪になって宣揚歌「桐の葉」を歌い締めくくりました。

本会では山形大学と2地区に支部を設けており、支部の地区幹事を中心に総会が開催されたり、自主組織の会が開催されたり、それぞれ交流が深められています。そのようなこともあり、ここ数年の総会参加者の傾向として、教育関係者、なかでも体育関係者の参加者が大半を占めており、参加者数も近年では30人弱で推移しています。より多くの方々に参加していただけるような環境作りが喫緊の課題でもあります。

このような現状を改善するため、若手の参加者や教育界以外の参加者を増やすための方策が必要であるという認識に立ち、「会員一人が会員一人を連れてくる運動」や「新規会員の情報共有と積極的な勧誘」などの意見が出され、来年度の再会を誓い合いました。

会の運営等については、その他にも課題がありますが、茗溪会本部の取り組みとも歩調を合わせながら今後も会員相互の情報交換と交流の場として総会等への参加を働きかけていきたいと考えています。

結びに茗溪会のますますの発展をご祈念申し上げますとともに、今後とも茗溪会山形県支部の活動に御指導と御鞭撻を賜りますようお願いいたします。

沖縄茗溪会活動報告

全国47都道府県の中で沖縄県だけが、唯一、茗溪会支部がなく、東京教育大・筑波大卒業生の沖縄県内在住者は250名を越えるとのデータが茗溪会本部にはありました

が、なかなか中心になる方が居られないまま現在に至っております。このことに憂慮された高橋基之・茗溪会理事が獅子奮迅の行動力を発揮され、自ら「沖縄同窓会第1回会合」を企画し、ご自身もご出席されて、2017年5月7日(日)に、

ネストホテル那覇において、『沖縄茗溪会第1回総会』が開催されました。

出席者22名のこぢんまりとしたスタートになりましたが、昭和39年東京教育大学卒の会員から平成24年筑波大学大学院修了の若い会員まで幅広く参集し、集まった会員相互の交流・情報交換で終始活発に盛り上がり、学部の様々な中で、教育大出身者は「キャンパスが何処だったか?」で、大塚、駒場、幡ヶ谷など、筑波大出身者は「宿舎やアパートが何処だったか?」で、平砂3号棟「天久保2丁目」・春日4丁目など、学んでいた学舎や住んでいた住所は共通の話題となり、学生時代の思い出に一瞬にして戻るキーワードとして個人の挨拶に入られて、楽しいひとときを過ごすことが出来ました。

他方、中心的な課題である役員及び会の規約について、参加者全員で議論して決定し「沖縄茗溪会」として正式に発足することになりました。初代会長は山門晃氏(S59筑博理)、事務局長に三輪一義氏(H02筑修体)、庶務に古堅小百合氏(H12筑修理)、会計に漢那洋子氏(H06



筑博理)が就任し、記念すべきスタートが切られました。懇親会の中で最も盛り上がったことは、参加された会員の方から、1971年に沖縄県若溪会の発会の試みがあったものの、成立直前で頓挫したとのエピソードが紹介され、今回の発足を心から喜んでいただくとのお話がありました。諸先輩方の、若溪会に関わる努力の跡を知ることができ、このような歴史を掘り起こしていくことも会の役割として大切なことになると心新たに第2次第です。

これで若溪会組織が全国すべての都道府県に揃ったこととなります。今後しばらくは、あまり背伸びせず、年に1回の総会・懇親会の開催のみで進めるとともに、沖縄県における若溪のネットワークを拡げ、卒業生ならびに教育界・経済界・スポーツ界・芸術界・医療界など、沖縄県の社会に微力ながら貢献していきたいと思えます。今年の総会は6月22日に開催されます。この季刊誌が発刊される頃には結果が出ている訳ですが、どれくらいの人数が集まるか、今後の沖縄若溪会を占う意味でも、大変興味深くその日を迎えたいと思います。

北京茗溪会活動報告

北京茗溪会は、筑波大学への留学経験のある中国の方や、日本の官公庁や企業から中国に派遣されている筑波大学卒業生と、その関係者によって組織されており、100名を超える会員が登録されています。

今回3年ぶりの寄稿となりますが、2017年・2018年の活動報告・計画につきご報告いたします。

活動報告

2017年

1月1日 元旦三万里の長城初日の出ツアー

極寒の冬の長城の美しく神々しい初日の出に参加者全員が感動しました。

3月25日 玉淵潭公園で花見・懇親会

桜が美しく咲いた中で、帰任者の送別会も兼ねて盛大に開催し、楽しく懇親を深めました。

5月24日 新幹事メンバーのキックオフミーティング
7月10日 暑気払いを兼ねてのミニ勉強会

中国のOBからは、「黄帝内経に基づいた代謝・内分泌・動脈硬化等の現代病に関する研究」と題する漢方に関する新鮮で興味深い発表と、「中国の高齢化社会」と題する現代中国の直面している現状を掘り下げた発表があり、日本のOBからは、自社の中国での事業展開についての発表がありました。3つの興味深いテーマに、楽しく討論しながら懇親を深めました。



2017年7月暑気払い勉強会

10月24日 NHK解説委員のOBを囲む会

出張で来燕されたOBを囲んで懇親会を開催。最新の中国を取り巻く情勢の話に皆、聞き入りました。

12月12日 2017年総会+忘年会実施

2017年の活動経過報告、2018年度の活動計画を審議し、新年度幹事を決定し、1年を締めくくりました。

ました。

2018年

3月25日 玉淵潭公園で花見・懇親会

開花には少し早い時期でしたが、初参加の方、ご家族連れの方、現役筑波大生も参加し楽しく懇親を深めました。

5月22日 新幹事メンバーのキックオフミーティング

今後の活動計画

7月 今年も暑気払いを兼ねての勉強会を計画し、わいがやがや議論しながら懇親を深めます。

12月 総会と忘年会を実施します。その他にも大学関係者訪中時や非公式に随時、歓迎会、懇親会等のイベントを開催する予定です。

今後、筑波大という同じキャンパスに学んだ、日中双方の多くのOB・OGが、イベントを通じて日中友好を深め、また、北京、上海、広州と筑波大人脈の横のつながりも広げながら、元気に、楽しく活動を継続してまいりたいと思いますので、北京茗溪会への変わらぬご理解、ご協力の程、よろしくお願い致します。

地域茗溪会の総会・講演会(実施・予定)

月日	地域名	月日	地域名	月日	地域名
5月12日	北海道	6月30日	徳島	7月7日	奈良
6月2日	大阪	6月30日	熊本	7月14日	愛知
6月9日	佐賀	6月30日	福岡	7月21日	和歌山
6月22日	沖縄	6月30日	静岡	7月21日	島根
6月23日	長崎	7月1日	茨城	7月21日	山梨
6月24日	埼玉	7月1日	千葉	7月28日	神奈川
6月24日	長野	7月1日	愛媛	7月28日	秋田
6月28日	筑波大	7月1日	富山	7月予定	三重
6月30日	栃木	7月5日	鳥取	7月予定	鹿児島
6月30日	群馬	7月7日	新潟	8月下旬	青森
6月30日	滋賀	7月7日	福島	10月13日	山口

◆教育大教育学部教育学科 昭和34年卒

と き 平成30年 5月16日(水)

ところ 嘉ノ雅茗溪館

(藤原)



◆昭和33年卒 東京教育大学体育学部

と き 平成30年 5月21日(月)

ところ 新宿 栄寿司

今年も25名の同期の仲間が元気な顔をみせてくれた。皆、すでに83才を超えているのに、よく飲み、よく食べ、大きな声で語り合っ
て、年を感じさせず、とても楽しかった。もう今年で会をやめよう
という声もあるが、来年も続けるのかな…。

(写真：渡辺悦男・文：渡部琴生)



◆東京教育大学理学部数学科昭和47年入学同窓会

と き 平成30年 5月27日(日)

ところ 仙鶴楼(茗荷谷の大学正門前)

卒業直後の会から約40年振りの平成28年に復活しました。最年少
者も今年高齢者の仲間入りです。毎年開催し、過去3回で連絡可能
な仲間の7割が参加しました。当面は会場と日程(5月第4日曜13
時)を固定して参加者の最大化を目指します。(文責：佐藤嘉晃)



◆山紫会(教育大文学部東洋史専攻 昭和34年入学者の会)

と き 平成30年 6月5日(火)～6日(水)

ところ 宿泊先：埼玉県熊谷市 ホテル ヘリテジ

平成12年に還暦を迎えてからは毎年欠かさずクラス会を持ち回り
で開いてきて、今年が19年目。6月5日に「さきたま史跡の博物館」
で学芸員のお話を伺い古墳群を見学。6日に「妻沼聖天山」で住職
の昭和39年東京教育大学文学部法律政治学専攻卒業の鈴木英全院主
(東京コンコルディア〔東京教育大とお茶の水女子大の合唱団〕OB)
からお話を伺い、ボランティアガイドの案内で見学し、来年、信州
での再会を約束して解散。(写真：柴崎正行、文責：高原 将)



◆東京教育大学文学部社会学科1957年卒業生同期会

と き 平成30年 6月13日(水)

ところ ホテルグランドアーク半蔵門(東京都千代田区豊町)

卒業後61年目の同期会を開催しました。参加者は60周年の昨年と
同じ8名でしたが皆元気そのもので、最若年は今年戌年の84歳。近
況報告に、昔話に、大いに盛り上がりました。次期幹事に、五十嵐
耕一・福岡一雄の両君を選出して、今回は来年6月13日に茗溪会館
で開催することを決め、解散しました。(文責：前幹事 土屋道生)



◆平成30年度 大阪茗溪会総会

と き 平成30年 6月2日(土)

ところ ホテルサンルート梅田

恒例の総会・講演会・懇親会が開催されました(参加者22名)。総
会では江田昌佑理事長より今後に向けた檄を賜った後、笹原秀夫氏
(56筑芸・伊賀市教育長)から「元気な間は働こう！民間企業と教育
行政の立場」と題する講演があり、懇親会と続きました。懇親会では、
今年瑞宝小綬章を受章された佐藤隆一氏(26文二・前会長)の
発声により乾杯、今年も楽しいひと時を持つことができました。



◆比較文化第2期生の同窓会

と き 平成29年11月18日(土)

ところ 帝国ホテル

比較文化第2期生の同窓会を、全国から24名が集い帝国ホテルにて開催しました。前回の同窓会から6年余りが過ぎ、気がつけば還暦に手が届く年齢になりました。定年を迎え人生の分岐点に立とうとする人、一足先に第二の人生をスタートした人も、久しぶりに旧交を温め明日の活力を蓄えることができました。



◆嶋田厚先生をお迎えして 比較文化学類7期生の会

と き 平成30年3月24日(土)

ルミエール デュ ソレイユ(東京・国立)

昭和56年度筑波大学比較文化学類入学生のクラス担任嶋田厚先生をお招きして、久々に同期会を開催しました。東京周辺の卒業生を中心に、北は秋田、西は大阪・京都・滋賀、さらには国外のアメリカ・タイから十数人が参集しました。先生は2014年に『嶋田厚著作集』全3巻を刊行され、なお元気です。

(幹事：吉川 亮、文：谷口 匡)



◆高師・26 文四会

と き 平成30年4月15日(日)

ところ 茗荷谷 中華・仙鶴楼

昭和22年入学の文科四部の仲間も、浮世に残された者十名余と数は少なくなったが、例年通り大塚の正門前の仙鶴楼に集まり、3時間有余を楽しんだ。出席者：写真奥左から高橋豊躬、新島岩夫(蓮田)、有沢弘一夫妻(栃木)、手前右から笛木 晃(宇都宮)、倉木常夫、小宮 進。体調不良欠席者：金沢良樹(千葉)、宮澤功衛(所沢)

(文責：倉木)



◆東京教育大学教育学部 昭和31年入学生 第5回「石富会」

と き 平成30年5月7日(月)

ところ 茗溪会館

平成23年より始まった、富田竹三郎先生・石井庄司先生担任の35名の「石富会」は今回で5回目を迎えました。初めに、逝去された先生・11名のクラスメイトへの黙とう・献杯。出席者11名。皆、80歳台の春、元気な再会を喜び合いました。誠に和気あいあい、気持ちよく語らい、時間延長2回。次回は2年後の5月。お互いの健康と再会を祈念しました。

(文責：池原耕太郎)



◆東京教育大学理学部数学科 昭和32年卒

と き 平成30年5月16日(水)

ところ 嘉ノ雅茗溪館

数年前から同期会は5月第3水曜日に開くことになりました。同期生は26名ですが、ここ数年の出席者は10名という状態が続いています。会が始まり現況報告を聴きながら過していると、たちまち2時間は経ってしまい来年の再会を約して会を閉じます。同期会の度に学生時代は一生のうちでも特別な日々だったという思いを強くしています。

(高村守夫)



◆“さよなら”クラス会(教育大理学部化学科 昭和34年入学)

と き 平成30年5月16日(水)

ところ 嘉ノ雅茗溪館

22人でスタートした1959年入学クラスです。東日本大震災以来のクラス会で、傘寿を目前にした参加者15名は、再会に安堵し、互いの健康、現況を思いやり、楽しく賑々しく語り合って“さよなら”が“再会”に変わったことを実感しました。

(文責：濱田 武)



茗溪学園だより

世界に広がる友人の輪・留学生紹介



ミンさん他留学生による文化祭での活動：
小学生の来場者にクイズ形式で外国文化紹介。
他にプレゼンなどの活動を行った

三人に続いて今年4月から、アイさん（タイ、女、来
年3月まで）が寮生活を始めました。8月からは、中国
から1名（女）、フィリピンから1名（男）、台湾から1
名（男）、アメリカから2名の来校・入寮が決まっていま
す。中国とフィリピ
ンからの2名は、メ
シア高校生架け橋プ
ロジェクト」※で来
日する留学生です。
台湾からは昨年に続
き台湾国内で選抜さ
れた国費留学生です。
アメリカからの2名
は、アメリカ在住の
日本人家庭の生徒で、
日本文化を体験させ
たいというご両親と
本人達の希望による



MSCISの活動：文化祭では、外国人留
学生と共に留学について情報提供・相談会
の活動を行った

相談内容は、留学
前の不安、心配事や
悩みから、留学中の
生活での注意事項、
帰国後の学習や進路
相談など様々です。
また、データベー
スに留学に関わる
様々な情報を記録し
ていく活動もしてい
ます。データの蓄積
が進めば、気軽に知

本校では、国際バカロレア・ディプロマ課程（IBDP）開設と共に、ワールドスクールとして今まで以上に
海外からの留学生を受け入れていこうと、寮生活を共
にする留学生の受け入れを昨年8月より開始しました。
ベトナムから1名、台湾から2名が来校・入寮し学校
生活を送っています。ベトナムからのミンさん（男）は、
10月から筑波大学（地球規模課題学士プログラム）へ進
学します。世界各国から9名の学生が入学すること
ですが、その一人として合格しました。国連職員として
働きたいという希望を持っています。台湾からの二人は、
今年6月末に帰国しますが、理系女（リケジョ）のシャ
オさんは、プログラミングを学びエンジニアになりたい
ということです。日本語の敬語を使いこなすサイさん
（男）は、日本語教師を目指しています。

留学です。

また、6～7月には、2週間の寮生活体験のある短期
留学プログラムが始まり、インドネシアの「ラッフルズ・
クリスチャン・スクール」生徒8名、タイの「Jエデュ
ケーション」10名が来校します。他に、オーストラリア
とニュージーランドから高校生10名（SOSREPプロ
ラムⅡ本校が行っている短期交換留学プログラム、ホ
ムステイ）が来校し、従来の留学機関（AFSやロータ
リーなど）を通じた交換留学生が2名（ブラジルとタイ
ホームステイ）もいます。留学生と共に様々な文化に触
れ、国際的素養を養い、世界的なネットワークを構築し
ていくって欲しいと思います。

※「アジア高校生架け橋プロジェクト」Ⅱ今年度から文部
科学省が予算をつけて始まった留学生受け入れプロ
ラム。5年で10000人を受け入れるというもの。今
年度は100名で6ヶ月間としている。

生徒による留学相談（MSCIS）

来校する留学生もさることながら、留学を希望する生
徒が多いのも本校の特徴です。本校教師による万全の留
学サポート体制は構築されていますが、留学を経験した
生徒達から、生徒の目線で応援したいという申し出があ
り、学校の国際教育部と共に活動することになりました。
生徒達は、MEIKEL Student Community for Interna-
tional Students MSCIS（エムシス）と命名しました。



プレゼン4分、質問2分、3交代制で次々
に発表が繰り返された

本校の「個人課題研究」については、何度も紹介させ
ていただいています。今年度の中間発表会は、ポスタ
ー発表（高校2年生全員）とし、保護者や外部のSSH
校にも公開することになりました（今までは、公開はな
く教室で全員が口頭発表をしていた）。
発表当日（6月26日午後）は、保護者やSSH校教員
など大勢の来場者があり、会場の体育館には熱気のこも
った発表の音が響いていました。

個人課題研究中間発表会

りたいことが分かる環境が整っていくものと思われま
す。定期的な会を開催して活動内容などについて話し合
いをし、より充実した活動としたいとのことでした。

部活動など結果報告（4～6月）

◎**中学ラグビー部**：関東大会優勝（3
年連続15回目）、第9回全国大会出
場（8年連続8回目、9月水戸開催）

◎**高校ラグビー部**：第19回全国選抜
大会結果・予選リーグ1勝2敗、第
5回全国7人制大会（5年連続5回
目出場7月菅平高原）、関東大会3
位

【**高校インターハイ出場**】東海大会
（三重、愛知、静岡、岐阜、8月初旬
開催）：柔道女子個人57kg級（県優
勝）、体操女（個人で2名出場）、バド
ミントン男子複（県準優勝）

【**高校関東大会**】：出場部活：ラグビ
ー部（県優勝）、体操部（男女）、バド
ミントン部（男女）、柔道部（女）、軟
式野球部（県準優勝）以上5部活

◎**中学バドミントン部**：県秋季大会
男単優勝、男複優勝と4位、女単3
位、女複4位

追 悼 録 (敬称略)

九里 茂三 19文二 29・12・2 長男 九里 廣
〒992-0039 米沢市門東町3-3-11
櫛部 淨義 19理一 30・1・9 長男 櫛部 義也
〒168-0082 東京都杉並区久我山4-14-9
滝澤 敏夫 20農教 30・3・13 妻 滝澤 高子
〒475-0916 半田市柁町1-72-1
藤森 慎 22理二 30・3・3 妻 藤森 照子
〒399-0024 松本市寿小赤784
岡部 茂幸 23大物 28・8・4 長男 岡部 太郎
〒202-0011 西東京市泉町5-15-A407
戸張 敦雄 23臨生 30・3・22 子 戸張 敦彦
〒185-0014 国分寺市東恋ヶ窪3-19-11
愛敬 高輝 24体 30・2・18 妻 愛敬 順子
〒297-0001 茂原市七波1783
名取 清 25大教 29・12・4 長男 名取 敦
〒665-0024 宝塚市逆瀬台5-13-7
畑野 正毅 25大数 28・10・31 妻 畑野 悦子
〒202-0011 西東京市泉町6-4-14
岩崎 肇 25農教 29・8・27 次男 岩崎 豪
〒683-0854 米子市彦名町6646-22
板井 哲夫 26体専 28・10・22 妻 板井 愛子
〒350-1305 狭山市入間川2-19-41-701
竹之内徳博 27理二 30・3・4 次女 竹之内淳子
〒184-0013 小金井市前原町1-6-11
小室 幸雄 27農教 30・2・4 妻 小室 節子
〒192-0051 八王子市元本郷町2-18-1
宗村 照行 28教大心 30・2・14 長男 宗村 俊久
〒352-0035 新座市栗原6-9-13
長澤 純 28教大数 29・6・20 妻 長澤 京子
〒862-0924 熊本市中央区帯山2-9-4

逝去会員氏名・卒年科・逝去年月日・ 遺族住所・氏名

金丸 俊夫 28教大植 30・6・1 長女 高橋佐和子
〒187-0002 小平市花小金井4-6-12
柿沼 郁二 28教大健 30・3・11 長男 柿沼 晴雄
〒320-0851 宇都宮市鶴田町2958-5
島田史都男 29教大物 30・2・26 妻 島田 俊子
〒414-0006 伊東市松原643
岡崎 茂美 29教大動 29・12・21 長女 中川 淳子
〒330-0064 さいたま市浦和区岸町6-6-20
武藤 幸男 31教大体 30・1・21 妻 武藤富美子
〒213-0033 川崎市高津区下作延2-11-23
中田健次郎 32教大健 29・7・16 妻 中田よ志江
〒432-8018 浜松市中区舘塚1-22-15
寺田 努 33教大英 30・2・18 妻 寺田 理子
〒623-0053 綾部市宮代町門ノ前9-4
大嶋 勲 33教大心 30・2・2 妻 大嶋美代子
〒278-0052 野田市春日町26-14
畠山 忠史 33教大植 30・3・8 妻 畠山アキ子
〒292-0052 木更津市祇園2-9-7
馬場 昭巨 34教大林 30・5・9 妻 馬場 栄子
〒113-0034 文京区湯島3-36-3-501
梁瀬 吉弘 34教大体 29・12・7 妻 梁瀬 茂登
〒998-0014 酒田市千日町10-1
加藤 健 36教大動 29・6・21 妻 加藤ひろみ
〒348-0053 羽生市南8-10-7
神明 民雄 37教大健 29・12・16 妻 神明 久枝
〒297-0025 茂原市緑町43-6
角田 陸男 49教大応物 29・8・28 妻 角田 美穂
〒204-0023 清瀬市竹丘3-20-6
鎌森 圭一 62筑一自 30・4・8 母 鎌森 矩子
〒510-0307 津市河芸町影重2915-3



Service Safety Sincerity
あなたのそばに。セキショウグループ。

SEKISHO
Energy for your Life

当社は「一般財団法人 関彰育英会」を通して、筑波大学
大学院博士後期課程の院生に、研究支援として奨学金の
支給を行っております。



関彰商事株式会社

代表取締役社長 関 正 樹 (学校法人 若溪学園理事)

つくば本部／茨城県つくば市二の宮 1-23-6 TEL 029-860-5151

若溪会担当：常務執行役員人事部長 岡本 俊一
(昭和56年 第一学群 社会学類 卒業)

<http://www.sekisho.co.jp/>



安全に、快適に、正確に

大曾根タクシー株式会社

取締役社長 塚本 一也

(平成3年環境科学研究科修了)

☆お迎え料金無料

☆カード利用 OK!

☆貸切バス事業者より

安全性評価認定(★★★)されました



〒300-3261 茨城県つくば市花畑3丁目19-4

TEL 029-864-0301

FAX 029-864-4727

メールアドレス <http://www.taxi.e-tsukuba.jp>

フリーダイヤル 0120-000-302

各営業所に通じます

平成30年春の叙勲

おめでとうございます(敬称略)

瑞宝中綬章

上條 宏之 33教大日史
藤沢謙一郎 37教大休

瑞宝小綬章

佐藤 隆一 26文二
伊藤 義和 37教大休
五味 武彦 42教大農・44教大院修農
山口 裕市 43教大教
滑川 正昭 46教大休
原田 俊 46教大武
前島 富雄 47教大木工
深江 久嗣 47教大休

瑞宝双光章

石橋 千城 31教大休
大野 敬三 44教大休
中田 正幸 45教大休
川名 博志 46教大休

紫綬褒章

小池 雅人 51教大院修物

※本欄は、各地域からの調査報告により掲載しております。もし記載もれがある場合は、事務局までお知らせください。

訂正

前号(平成30年春号)で誤りがありましたのでお詫びして訂正いたします。

P7 「平成29年度茗溪会賞(芸術部門) 受賞者・作品名」 瀧本泰士氏の所属「

(正)人間総合科学研究科前期芸術専攻
(誤)芸術専門学群

P13 「第33回教職受験対策研修会から」

一段目3〜4行目

(正)前国立教育政策研究所総括研究官…谷田部…
(誤)元国立教育政策研究所統括研究官…矢田部…

広報

表紙写真について

これまで4年間あまり、季刊誌「茗溪」の表紙には西川潔前副理事長長撮影の筑波大学風景を載せてきました。前号から、一新して全国各地で活躍する、茗溪会会員からの写真で表紙を飾ることにしました。従来から季刊誌の表紙は重要なコミュニケーションの場と位置づけ、できれば全国的広がりをもち茗溪会組織を、そこで表現できないかと、関係者で話し合ってきました。それが実現しました。

今回は、北海道茗溪会にお願いをしました。

表紙の言葉

北海道茗溪会 宮下 聡

北海道茗溪会では、毎年5月初旬に総会、1月に新年会を札幌市で開催しています。参加者は高校関係が大半を占めていますが、大学や民間の方々も出席されるようになってきました。その札幌市の中心部の中島公園内に豊平館が在ります。円形のバルコニーがある豪華な佇まいと、真っ白い板張りの壁に水色の縁取りでアクセントを入れた外観は、市内の歴史的建造物の中でも特に個性的な印象を与えます。明治13年に開拓使が貴賓接待所として建てた洋風ホテルは明治天皇の行幸の行在地となり、その後も要人の宿泊施設、公会堂、祝賀会の会場として利用され、現在は国の重要文化財に指定されています。今年には本道が「北海道」と命名されてから150年目の年です。先人が厳しい自然と戦い、苦労を重ねて開拓し、産業、経済、文化を発展させてきた歴史を見守ってきた豊平館は平成28年にリニューアルオープンしました。北海道らしい風景等が数多くあるなか、節目の年に相応しい写真を同窓の皆様にご紹介します。

編集後記

先日、大阪地区で直下型の大きな地震がありました。大阪および近隣地域の皆様にお見舞い申し上げます。本号は、茗溪会の定時総会関連の記事が中心となりました。特に役員改選の時期でもあり、季刊誌関係では、毎号表紙写真にご注力いただいていた西川潔前副理事長と広報委員長の五味田優氏が退任されました。1096正月号の特集にご登場いただいた日本体育大学教授の阿江通良氏が新たな副理事長になりました。また、編集に携わっておられる早川源一氏、および1094・夏号と1096正月号の特集にご登場いただいた筑波大学体育系教授の真田久氏が新たに理事に就任されました。今後とも、新たな体制の下よろしくお願ひ申し上げます。(事務局 前田)

※平成30年9月22日に予定しておりました筑波地区の公開講座「マンガからMANGAへ」編集現場から見る日本漫画の歴史」は講師が急逝されたため中止となりました。心よりご冥福をお祈り申し上げます。

平成30年7月15日発行

発行 一般社団法人 茗溪会

茗溪会事務局・大塚事務所

112-0012 東京都文京区大塚一五二三

TEL 〇三三三九四一〇一三六

FAX 〇三三三九四一七六七四

E-mail info@meikio.jp

URL http://www.meikio.jp

郵便振替記号番号 〇〇一五〇二四九七七

筑波事務所

305-8577 つくば市天王台一〇一

筑波大学・大学会館内

TEL 〇二九八五〇一〇四四

FAX 〇二九八五〇一〇四五

E-mail tsujinu@meikio.jp

印刷 東京都文京区関口一三九一〇

山浦印刷株式会社

筑波大学
出版会

サイバニクスが拓く未来
テクノピアサポートの時代を
生きる君たちへ

HALは、世界に向けた
私の「遊び心+挑戦心」
の表れの一つでした。
—山海嘉之—

山海 嘉之 著
1500円+税
A5判 140頁



自然保護学入門
ひとと自然をつなぐ

筑波大学
自然保護寄附講座 編
基礎となる具体的なテーマと
モニタリング調査法を紹介。

2900円+税
A5判 258頁

(全版カラー対応) 紙版・電子版・POD版
POD版発売: Amazon



変貌する
現代オーストラリアの都市社会

堤 純 編著
各エスニックグループの特徴を大
都市圏の構造から捉える。客観的・
定量的な分析により実態と諸問題
を明らかにする。

3500円+税
A5判 200頁



もっと知りたい!
「科学の芽」の世界 PART 6

2200円+税
B5判 220頁 「科学の芽」賞実行委員会 編

紙版・電子版・POD版 (全版カラー対応)
POD版発売: Amazon

発売:
丸善出版



株式会社 阿部兄弟建築事務所

<http://abeoffice.co.jp>



〒101-0032

東京都千代田区岩本町1-3-9 高木ビル

代表取締役 荒井 豊人 (昭57
建築工)

TEL 03-3866-4181 FAX 03-3866-4120



経営・労務・年金etc. コンサルタント

福岡経営労務事務所

〒125-0042 葛飾区金町3-27-3

TEL 03(3607)0551 FAX 03(3607)0551

所 長 福岡 一雄 (32教大法政)
社会保険労務士



株式会社 十和観光

代表取締役
社 長 井坂 信 洋

URL <http://www.juwa.com> E-mail: travel@juwa.com
〒300-2451 茨城県つくばみらい市 茨輪 254
TEL 0297 (52) 1221 FAX 0297 (52) 1220

「美味しい」の、その先までを考える。

—私たちは、食に関する戦略提案型メーカーです。
食の調達・加工から新商品の企画開発、供給まで。
戦略パートナーとして、お客様の期待を超える提案をします。



株式会社 フーズプランナー

〒100-0022 東京都新宿区新宿一丁目20番13号

花園公園ビル8階

TEL: 03(6363)6238 FAX: 03(6363)6222

<http://www.foods-planner.co.jp>

常務取締役 田中 修 (昭54年 第二学群 農林学類卒)

スポーツ&起業家&企業人「つくばウェイ」

TSUKUBA WAY プロジェクト

～若溪・筑波OB・OGの活躍を集約!!～

<http://tsukubaway.com/>

株式会社 KTAJ

代表取締役 藤田 文武 (体育専門学郡
2004年卒)



Future X Communications

FXC株式会社 <https://www.fxc.jp/>

当社は光通信機器やイーサネットスイッチ等のネットワーク機器を開発・
製造し、各地の公立高校始め、官公庁、企業等に多数納入実績がございます。

創業者:代表取締役社長執行役員 谷輪 重之 (93筑修経営)

印刷・製本までトータルに対応

株式
会社 ケイエスアイ

東京営業所 〒102-0072 東京都千代田区飯田橋2-3-1
東京フジビル502号室

TEL 03-5357-1668 FAX 03-5357-1669



株式会社 長谷工 コーポレーション

〒105-8507 東京都港区芝2丁目32番1号

電話 03(3456)1578

常務執行役員 植岡 祥之 (昭57筑社工)

つくばでの宿泊・研修に—

ご家族で、お仲間で

最大収容180名、お一人3,700円から
若溪会員とご家族に割引あり

研修セミナー・サークル発表会・各種会議・学習合宿・部活動合宿に
シングル145室ツイン5室和室5室/研修室2室 (120・40名)
和室も研修室として利用可 (20畳、10畳)
館内食堂《こうせい》でパーティ・懇親会等 (数名から80名まで)

アクセス

秋葉原駅からつくばエクスプレスで45分「つくば駅」下車
●バス/「筑波大学循環」3丁目「筑波メディカルセンター前」下車
徒歩8分●つくば駅からタクシー/5分

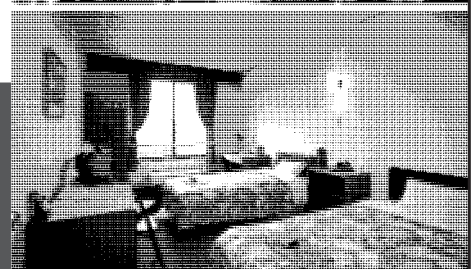
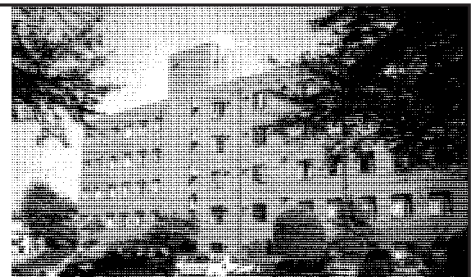
一般財団法人筑波学都資金財団

筑波研修センター

〒305-0005 茨城県つくば市天久保1-13-5

TEL 029-851-5152 / FAX 029-851-8886

<http://www.meikei.or.jp/~center> e-mail: center@meikei.or.jp



日本一の業務用酒販会社で一緒に楽しく働きませんか？

※業務用…居酒屋、BAR、レストランなど飲食店のお客様

カクヤスは業務用のお酒やジュースなど食品の配送と、小売酒販店のチェーン展開を手がけて順調に事業拡大を続けています。多くの仲間が全国各地から入社しており、年齢の近い先輩もたくさんいます！



上京時の交通費、引っ越し代は全額支給！社員寮もあります！（家賃：22,000円～）

部活動、サークル、同好会多数あり！（現在17つ活動中）

車両安全講習や合宿研修もあるので安心して働けます！

運転免許取得費用サポート制度あり！



サークル・部活動は、サッカー、野球、バスケなどのスポーツ系からゲームサークルまで幅広く活動しています！（現在17つ）年齢や部署を超えて活動しているので、カクヤスのみんなと仲良くなれる環境が整っていますよ！

国内業務用酒販売上NO.1！

（2016年帝国データバンク調べ）

顧客満足度NO.1！

（首都圏飲食店 2017年帝国データバンク調べ）



人事部 採用担当：廣瀬（ヒロセ）



株式会社カクヤス

<会社概要>

本社：東京都北区豊島2-3-1

代表取締役：佐藤 順一（S.55 筑一社）

創業：1921年11月1日

資本金：1億円

連絡先：03-3239-8020

（人事部 採用担当）

<仕事内容>

・飲食店などの業務店のルート配送

・一般のご家庭への配送

HPにも遊びに来てくださいね！



なんでも酒や **カクヤス**
<http://www.kakuyasu.co.jp/>

広告募集

一般社団法人 茗溪会

〒112-0012

東京都文京区大塚1丁目5番23号

電話 03(3941)0136

FAX 03(3941)7674

eメール info@meikei.or.jp

ホームページ http://www.meikei.or.jp



桜美林大学

J. F. Oberlin University

リベラルアーツ学群 / 健康福祉学群
ビジネスマネジメント学群 / 芸術文化学群
グローバル・コミュニケーション学群(2016年開設)

桜美林学園 理事長・学園長 佐藤 東洋士
学長 畑山 浩昭
入試事務室相談役 川田 孝一 (昭39教大総農)

【お問合せ先】

〒194-0294 東京都町田市常盤町 3758

桜美林大学インフォメーションセンター

Tel.042-797-1583 E-mail:info-ctr@obirin.ac.jp



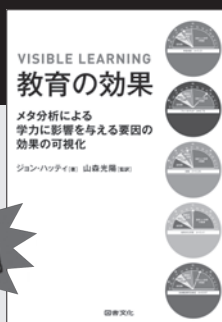
子どもたちの学力向上に寄与する効果的な指導とは何か
世界各国で翻訳出版された話題の教育書、待望の邦訳版

Visible Learning by John Hattie

教育の効果

メタ分析による
学力に影響を与える要因の
効果の可視化

ジョン・ハッティ 著 / 山森光陽 監訳 A5判●本体3,700円+税



反響続々!
早くも5刷!!

Amazon
ランキング
学校教育一般部門

1位

※2018/2/20調べ
※Amazon および Amazon.co.jp は、
amazon.com, Inc. またはその関連会社の商標または登録商標です。

【中教審教育課程部会委員】

無藤隆氏 推薦!

「世界の実証研究に基づくエビデンスがここにある。
日本の教育改革の基盤ともなるだろう」

世界各国の800以上の研究を対象に、学習者自身の属性、家庭環境、学級やクラスメイト、教師の指導方法など、学力に影響を与える様々な要因の影響の大きさを比較可能な指標で示す。あらゆる教育のエビデンスをこの一冊に集積。

〒112-0012 東京都文京区大塚1-4-15
http://www.toshobunka.co.jp/

図書文化

TEL. 03-3943-2511 FAX. 03-3943-2519
ブックライナーで注文可 ☎0120-39-8899

Meikei-
Making
the
Difference



Meikei
High School

茗溪学園中学校高等学校

* 茗溪学園は 1979 年に茗溪会の百周年記念事業で生まれた学校です

- ◆寮のある学校です
- ◆国際バカロレア (IB) 認定校です
2017 年 4 月から IBDP 課程開始
- ◆「知識」「体験」「考え方」
——とことん学び身につけます
- ◆部活動が盛んな文武両道の学校です

平成 30 年度公開行事

7月31日(火) 吹奏楽部定期演奏会
会場：つくば市ノバホール
17:00開演
9月 8日(土) 高校入試説明会
10月20日(土) 学園入試説明会
(IBコース説明会含む)
11月 6日(木) ~11日(日)
茗溪学園美術展
会場：つくば美術館



アクセス つくばエクスプレスTX つくば駅A3A4出口 バスターミナル4番のりば「ひたち野うしく行」バス、
「環境研究所」下車徒歩5分 または JRひたち野うしく駅 東口バス乗り場「つくばセンター行」
e-mail kouhou@meikei.ac.jp (見学等) entry@meikei.ac.jp (入試等)